

平成29年度(2017年度) リサイクルプラザ評価表

施設名称	豊中市伊丹市クリーンランドリサイクルプラザ(豊中伊丹スリーR・センター)		
所在地	豊中市原田西町2-1	竣工年月	平成24年(2012年)3月
施設概要 ・ 主要設備	<p>〈施設概要〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 構造 : 鉄筋コンクリート(地上4階) ○ 建築面積 : 約 5,000平方メートル ○ 延べ床面積 : 約11,000平方メートル <p>〈プラント設備概要〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ごみ処理能力 : 134t/日 ○ 選別種類 : ペットボトル、びん類、プラスチック製容器包装、スチール・アルミ缶類、古紙・古布類、鉄・非鉄類、不燃物・可燃物、剪定枝 ○ 処理設備 : (不燃ごみ類系統)低速回転破碎、高速回転破碎、磁選、粒度選別および風力選別 (資源物系統) 粒度選別および手選別 		
施設紹介 及び特徴	<p>本施設の選別工程における手選別処理に関しては、両市の知的障がい者の一般就労の場を設けている。</p> <p>また、廃棄物処理を行うだけでなく、市民の交流拠点及び環境に対する学びの場としての環境学習機能を備えた施設運営を行っている。</p>		
運営形態	委託	運營業務 受託者	株式会社 T&Iリサイクルフォレスト (うち、手選別業務は株式会社 きると が従事)
		環境学習業務 受託者	NPO法人 豊中・伊丹環境政策フォーラム

【 I . リサイクルプラザに関するデータ】

ごみ搬入量	豊中市	13,437.21 t	計	20,451.56 t	
	伊丹市	7,014.35 t			
ごみ種 (搬入品目 内訳)	ペットボトル	5.7 %	缶 類	3.1 %	計 100 %
	びん 類	16.1 %	古紙・古布類	10.0 %	
	プラスチック製容器包装	25.7 %	不 燃	35.1 %	
	粗 大	2.6 %	剪 定 枝	0.8 %	
光熱水使用量	電気使用量	268,650 kwh	障害者 雇用数	30人 (3月末在籍者数)	
	蒸気使用量	276.5 t			
	下水使用料	541.3 m ³			

※ 特に記載のないものは平成29年度(2017年度)実績値

注:各項目における評価(適/不適)について

自己評価……実際に当該施設を運転・管理している現場職員による自己評価

内部評価……クリーンランドの管理職で構成される内部評価委員会における内部評価

を記載しています。

【II. 資源化に関するデータ】

1. ペットボトル

品目	測定データ	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
ペットボトル	搬入量(t)	78.97	97.86	108.83	117.09	137.39	120.17	
	資源化量(t)	62.02	79.60	97.09	106.43	114.65	116.92	
	資源化率(%)	78.54	81.34	89.21	90.90	83.45	97.30	
	組成割合 (w/w%)	適合ペットボトル	-	99.6	-	-	99.6	-
		キャップ・ラベル付き	-	0.2	-	-	0.0	-
		塩ビボトル	-	0.0	-	-	0.0	-
		ポリエチレン・ポリプロピレン	-	0.0	-	-	0.0	-
		材質識別マークなし	-	0.0	-	-	0.0	-
		ガラスびん	-	0.0	-	-	0.0	-
アルミ缶・スチール缶		-	0.0	-	-	0.0	-	
紙製容器		-	0.0	-	-	0.0	-	
上記以外の異物	-	0.2	-	-	0.4	-		

備考	搬入物検査結果(3月) ・上記以外の異物 0.1% (選別基準:混入していないこと)
----	---

2. びん類

品目	測定項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
びん類	搬入量(t)	252.46	285.94	288.28	272.55	304.36	271.29	
	資源化量(無色)(t)	59.69	68.16	73.73	71.30	92.44	91.87	
	資源化量(茶色)(t)	49.14	59.94	62.21	57.48	69.32	67.89	
	資源化量(その他)(t)	102.76	128.05	115.23	108.92	128.03	110.35	
	資源化率(%)	83.81	89.58	87.13	87.21	95.21	99.57	
	無色びん (w/w%) 組成割合	無色ガラスびん	-	100.0	-	-	99.8	-
		アルミニウムキャップ	-	0.0	-	-	0.0	-
		スチールキャップ	-	0.0	-	-	0.0	-
		その他金属キャップ	-	0.0	-	-	0.0	-
		プラスチックキャップ	-	0.0	-	-	0.2	-
		陶磁器類	-	0.0	-	-	0.0	-
		石・コンクリート・土砂類	-	0.0	-	-	0.0	-
		ガラスびん(無色以外)	-	0.0	-	-	0.0	-
		中身残り、汚れ	-	0.0	-	-	0.0	-
		異質ガラス	-	0.0	-	-	0.0	-
		その他容器	-	0.0	-	-	0.0	-
		茶色びん (w/w%) 組成割合	茶色ガラスびん	-	100.0	-	-	98.7
	アルミニウムキャップ		-	0.0	-	-	0.0	-
	スチールキャップ		-	0.0	-	-	0.0	-
	その他金属キャップ		-	0.0	-	-	0.0	-
	プラスチックキャップ		-	0.0	-	-	0.3	-
	陶磁器類		-	0.0	-	-	0.0	-
	石・コンクリート・土砂類		-	0.0	-	-	0.0	-
	ガラスびん(茶色以外)		-	0.0	-	-	1.0	-
	中身残り、汚れ		-	0.0	-	-	0.0	-
	異質ガラス		-	0.0	-	-	0.0	-
	その他容器		-	0.0	-	-	0.0	-
	その他色びん (w/w%) 組成割合		その他色ガラスびん	-	100.0	-	-	100.0
		アルミニウムキャップ	-	0.0	-	-	0.0	-
		スチールキャップ	-	0.0	-	-	0.0	-
その他金属キャップ		-	0.0	-	-	0.0	-	
プラスチックキャップ		-	0.0	-	-	0.0	-	
陶磁器類		-	0.0	-	-	0.0	-	
石・コンクリート・土砂類		-	0.0	-	-	0.0	-	
ガラスびん(その他以外)		-	0.0	-	-	0.0	-	
中身残り、汚れ		-	0.0	-	-	0.0	-	
異質ガラス		-	0.0	-	-	0.0	-	
その他容器		-	0.0	-	-	0.0	-	

備考	搬入物検査結果(年度平均) 無色びん ・プラスチックキャップ 0.1% (選別基準:0.05以下) 茶色びん ・アルミニウムキャップ 0.05% (選別基準:0.003以下) ・プラスチックキャップ 0.08% (選別基準:0.05以下) ・ガラスびん(茶色以外) 0.3% (選別基準0.1以下)
----	---

10月	11月	12月	1月	2月	3月	量計/率平均	基準値
97.61	85.79	81.83	80.80	69.83	86.96	1,163.13	-
80.15	70.61	69.92	69.89	60.57	71.08	998.93	-
82.11	82.31	85.45	86.50	86.74	81.74	85.88	-
-	99.1	-	-	-	99.4	99.4	90以上
-	0.8	-	-	-	0.5	0.4	10以下
-	0.0	-	-	-	0.0	0.0	0.5以下
-	0.0	-	-	-	0.0	0.0	0.5以下
-	0.0	-	-	-	0.0	0.0	1以下
-	0.0	-	-	-	0.0	0.0	無混入
-	0.0	-	-	-	0.0	0.0	無混入
-	0.0	-	-	-	0.0	0.0	無混入
-	0.1	-	-	-	0.1	0.2	無混入

自己評価	内部評価
不適	不適

10月	11月	12月	1月	2月	3月	量計/率平均	基準値
247.78	256.75	280.10	315.33	238.62	271.67	3,285.13	-
69.87	69.28	87.03	81.49	72.94	79.30	917.10	-
52.89	50.59	58.85	59.05	49.36	56.29	693.01	-
111.15	120.07	116.48	153.29	110.79	119.77	1,424.89	-
94.40	93.45	93.67	93.18	97.68	94.00	92.39	-
-	100.0	-	-	-	99.8	99.9	90以上
-	0.0	-	-	-	0.0	0.000	0.003以下
-	0.0	-	-	-	0.0	0.000	0.005以下
-	0.0	-	-	-	0.0	0.000	0.005以下
-	0.0	-	-	-	0.1	0.05	0.05以下
-	0.0	-	-	-	0.0	196.043	0.003以下
-	0.0	-	-	-	0.0	167.625	0.003以下
-	0.0	-	-	-	0.0	63.6	0.1以下
-	0.0	-	-	-	0.0	59.6	0
-	0.0	-	-	-	0.0	0.3	0
-	0.0	-	-	-	0.0	0.0	0
-	100.0	-	-	-	99.8	40.0	90以上
-	0.0	-	-	-	0.2	0.040	0.003以下
-	0.0	-	-	-	0.0	0.000	0.005以下
-	0.0	-	-	-	0.0	0.000	0.005以下
-	0.0	-	-	-	0.0	0.00	0.05以下
-	0.0	-	-	-	0.0	0.080	0.003以下
-	0.0	-	-	-	0.0	0.000	0.003以下
-	0.0	-	-	-	0.3	0.2	0.1以下
-	0.0	-	-	-	0.0	0.0	0
-	0.0	-	-	-	0.0	0.0	0
-	0.0	-	-	-	0.0	0.0	0
-	100.0	-	-	-	100.0	100.0	90以上
-	0.0	-	-	-	0.0	0.000	0.003以下
-	0.0	-	-	-	0.0	0.000	0.005以下
-	0.0	-	-	-	0.0	0.000	0.005以下
-	0.0	-	-	-	0.0	0.00	0.05以下
-	0.0	-	-	-	0.0	0.000	0.003以下
-	0.0	-	-	-	0.0	0.000	0.003以下
-	0.0	-	-	-	0.0	0.0	0.1以下
-	0.0	-	-	-	0.0	0.0	0
-	0.0	-	-	-	0.0	0.0	0
-	0.0	-	-	-	0.0	0.0	0

自己評価	内部評価
不適	不適

3. プラスチック製容器包装

品目	測定項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
プラスチック製 容器包装	搬入量(t)	417.54	487.39	455.21	430.39	482.87	412.68	
	資源化量(t)	342.71	382.79	352.94	342.29	365.72	345.58	
	資源化率(%)	82.08	78.54	77.53	79.53	75.74	83.74	
	組成割合 (w/w%)	分別基準適合品	-	95.3	-	-	96.7	-
		殆ど破袋されている	-	0.0	-	-	0.0	-
		汚れが付着	-	0.0	-	-	0.0	-
		指定収集袋及び市販のごみ袋	-	0.9	-	-	0.1	-
		ペットボトル	-	0.7	-	-	0.8	-
		他素材の容器包装	-	0.7	-	-	0.1	-
		容器包装以外のプラスチック	-	0.5	-	-	1.1	-
事業系プラスチック		-	0.0	-	-	0.1	-	
上記以外の異物	-	1.9	-	-	1.0	-		
禁忌品/危険品	-	0.0	-	-	0.1	-		

備考	搬入物検査結果(年度平均)	
	<ul style="list-style-type: none"> ・汚れが付着 0.025% (選別基準:無混入) ・指定収集袋及び市販のごみ袋 0.5% (選別基準:無混入) ・ペットボトル 0.6% (選別基準:無混入) ・他素材の容器包装 0.3% (選別基準:無混入) ・容器包装以外のプラスチック 1.15% (選別基準:無混入) ・事業系プラスチック 0.1% (選別基準:無混入) ・上記以外の異物 1.1% (選別基準:無混入) 	

4. 缶類

品目	測定項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月
缶類	搬入量(t)	50.15	57.42	51.19	54.10	61.76	54.50
	資源化量(スチール缶)(t)	18.54	31.61	21.04	26.18	22.13	25.34
	資源化量(アルミ缶)(t)	11.37	22.55	16.71	23.58	21.80	21.85
	資源化率(%)	59.64	94.32	73.74	91.98	71.13	86.59
	純度(スチール缶)(w/w%)	-	99.8	-	-	99.8	-
	純度(アルミ缶)(w/w%)	-	99.5	-	-	100.0	-

5. 古紙・古布類

品目	測定項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月
古紙・古布	搬入量(t)	284.41	266.79	191.21	209.49	152.77	137.55
	資源化量(古紙)(t)	262.31	227.95	196.75	182.96	136.99	135.97
	資源化量(古布)(t)	34.37	41.95	29.06	14.60	15.24	10.67
	資源化率(%)	104.31	101.17	118.10	94.31	99.65	106.61

10月	11月	12月	1月	2月	3月	量計/率平均	基準値
422.45	442.86	411.40	478.10	387.90	435.20	5,263.99	-
331.05	358.17	339.49	396.54	311.63	358.14	4,227.05	-
78.36	80.88	82.52	82.94	80.34	82.29	80.30	-
-	-	95.3	-	-	96.7	1.9	90以上
-	-	0.0	-	-	0.0	2.4	殆ど破袋
-	-	0.0	-	-	0.0	124.5	無混入
-	-	0.9	-	-	0.1	5,264.0	無混入
-	-	0.7	-	-	0.8	4,227.1	無混入
-	-	0.7	-	-	0.1	80.3	無混入
-	-	0.5	-	-	1.1	1.9	無混入
-	-	0.0	-	-	0.1	2.4	無混入
-	-	1.9	-	-	1.0	124.5	無混入
-	-	0.0	-	-	0.1	5,264.0	無混入

自己評価	内部評価
不適	不適

10月	11月	12月	1月	2月	3月	量計/率平均	基準値
51.18	49.68	54.30	55.06	43.22	48.23	630.79	-
26.17	25.55	26.35	26.21	16.80	31.54	297.46	-
16.76	20.59	17.24	17.15	11.32	24.67	225.59	-
83.88	92.87	80.28	78.75	65.06	116.55	82.92	-
-	99.8	-	-	-	99.9	99.9	95以上
-	100.0	-	-	-	99.9	100.0	95以上

自己評価	内部評価
適	適

10月	11月	12月	1月	2月	3月	量計/率平均	基準値
162.44	133.65	144.94	130.28	105.04	129.52	2,048.09	-
103.48	142.68	144.79	91.90	98.61	145.09	1,869.48	-
17.80	17.65	13.11	7.11	6.76	11.26	219.58	-
74.66	119.96	108.94	76.00	100.31	120.71	102.00	-

6. 不燃・粗大

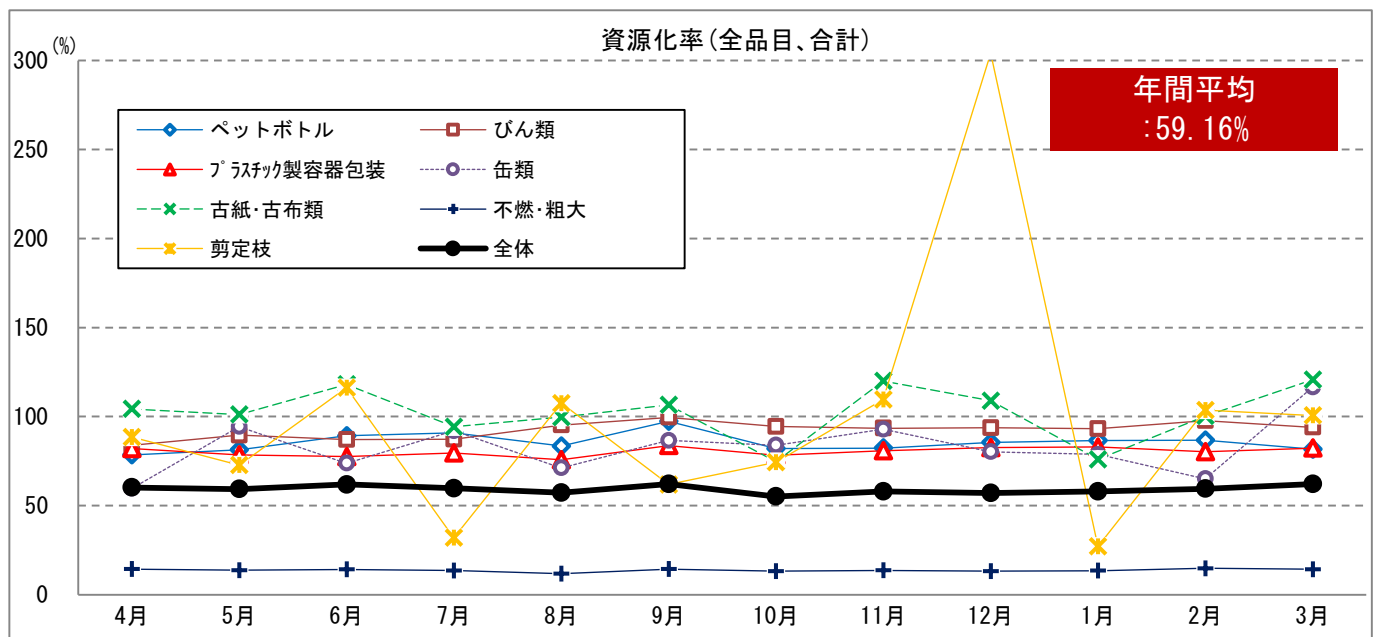
品目	測定項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
不燃・粗大	搬入量(t)	644.18	736.70	611.15	616.22	710.92	643.78	
	資源化量(鉄類)(t)	81.56	88.32	75.52	72.78	71.67	80.31	
	資源化量(非鉄類)(t)	10.58	12.90	10.72	10.90	12.22	11.97	
	資源化率(%)	14.30	13.74	14.11	13.58	11.80	14.33	
	鉄類組成割合(w%)	鉄類	-	95.1	-	-	97.7	-
		非鉄類	-	0.1	-	-	0.0	-
		可燃物類	-	4.2	-	-	2.0	-
		不燃物	-	0.6	-	-	0.3	-
	非鉄類組成割合(w%)	鉄類	-	0.0	-	-	0.0	-
		非鉄類	-	87.2	-	-	93.0	-
		可燃物類	-	10.1	-	-	6.4	-
		不燃物	-	2.7	-	-	0.6	-
	可燃物類組成割合(w%)	鉄類	-	11.0	-	-	2.3	-
		非鉄類	-	2.7	-	-	3.5	-
		可燃物類	-	80.1	-	-	93.6	-
		不燃物	-	6.2	-	-	0.6	-
選別不燃組成割合(w%)	鉄類	-	0.9	-	-	1.7	-	
	非鉄類	-	0.2	-	-	0.4	-	
	可燃物類	-	4.9	-	-	6.4	-	
	不燃物	-	94.0	-	-	91.5	-	

7. 剪定枝

品目	測定項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月
剪定枝	搬入量(t)	18.18	14.99	7.58	6.42	18.10	17.29
	資源化量(t)	16.09	10.90	8.81	2.05	19.47	10.70
	資源化率(%)	88.50	72.72	116.23	31.93	107.57	61.89

8. 合計

品目	測定項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月
合計	搬入量(t)	1,745.89	1,947.09	1,713.45	1,706.26	1,868.17	1,657.26
	資源化量(t)	1,051.14	1,154.72	1,059.81	1,019.47	1,069.68	1,029.42
	資源化率(%)	60.21	59.30	61.85	59.75	57.26	62.12



10月	11月	12月	1月	2月	3月	量計/率平均	基準値
646.32	725.76	749.22	641.09	543.20	627.73	7,896.27	-
75.29	86.06	86.26	75.42	70.85	80.36	944.40	-
10.20	12.62	12.22	10.88	9.47	9.04	133.72	-
13.23	13.60	13.14	13.46	14.79	14.24	13.65	-
-	97.8	-	-	-	98.1	97.2	95以上
-	0.1	-	-	-	0.0	0.1	-
-	1.3	-	-	-	1.7	2.3	-
-	0.8	-	-	-	0.2	0.5	-
-	0.9	-	-	-	0.0	0.2	-
-	88.5	-	-	-	95.3	91.0	85以上
-	9.2	-	-	-	4.1	7.5	-
-	1.4	-	-	-	0.6	1.3	-
-	8.5	-	-	-	3.8	6.4	-
-	6.3	-	-	-	1.7	3.6	-
-	84.2	-	-	-	86.4	86.1	80以上
-	1.0	-	-	-	8.1	4.0	-
-	1.1	-	-	-	1.9	1.4	-
-	0.2	-	-	-	1.9	0.7	-
-	7.6	-	-	-	8.0	6.7	10以下
-	91.1	-	-	-	88.2	91.2	-

自己評価	内部評価
適	適

10月	11月	12月	1月	2月	3月	量計/率平均	基準値
18.78	17.44	4.15	10.86	13.71	16.66	613.96	-
13.95	19.10	12.62	2.94	14.20	16.77	147.60	-
74.28	109.52	304.10	27.07	103.57	100.66	24.04	-

10月	11月	12月	1月	2月	3月	量計/率平均
1,646.56	1,711.93	1,725.94	1,711.52	1,401.52	1,615.97	20,451.56
908.76	992.97	984.36	991.87	833.30	1,003.31	12,098.81
55.19	58.00	57.03	57.95	59.46	62.09	59.16

- ※ 全ての品目について、基準値はクリーンランドからリサイクルプラザ運営委託業者に対して提出している要求水準書に基づくもの。
- ※ 備考欄は、資源化品目の組成割合/純度の基準において、基準を満たしていない場合に記載。
- ※ 組成割合/純度が「-」である月については、純度の計測を行っていない。
- ※ 資源化率が100%を超えていることがあるが、これは「収集品目の搬入日≠資源化品目の搬出日」であるため。

9. 資源化に関するコメント

コメント・総括

担当課

ペットボトル、びん、缶類は年間を通して高い組成割合となった一方、プラスチック製容器包装の中にプラスチック製品が含まれている。これはプラスチック製容器包装とプラスチック製品との違いが理解しにくく、排出する市民にとって分かりやすいかどうかは各種別の組成割合に現れているものと考えられる。このため、引き続き分別に関する啓発を行っていくことが重要と感じる。

古紙・古布に年間搬出量が年間搬入量を超過した結果、年間の資源化率が102.16%となった。古紙・古布を単独品目として収集している豊中市の収集部局と意見交換を行った中で「ふれあい収集」は不燃ごみとして搬入されているが、内容物は古紙・古布が大半を占めていることが判明した。これを是正することにより、搬出量超過も改善できると推測されることから、次年度以降は「ふれあい収集」は古紙・古布として搬入を行うことを確認した。

資源化率については60%を目標としてきたが、最終的には59.16%となった。両市の搬入物検査において不燃ごみの中に可燃ごみが多く含まれていること等から、不燃・粗大ごみの資源化率が低いことが大きな要因と考えられる。平成24年度(2012年度)以降、プラスチック製品の分別種類が不燃ごみから可燃ごみへと変更になったが、不燃ごみへの混入率が多く市民周知が不十分と考えられ、両市に対してさらなる啓発の徹底を要望していく。

内部評価委員

(ペットボトル)

- ・資源化率に対する基準値を定めモニタリングするべきではないか。

(プラスチック製容器包装)

・搬出物に含まれる金属類により再商品化事業者の機器が損傷した問題をきっかけとして、金属類混入対策としてコンベア速度の調整により選別精度を向上させたことが功を奏し、適合品比率が本年度最高の98.2%となったことは大きな成果といえる。

・プラスチック製容器包装の選別精度は、コンベア速度のみならず堆積量とも関係があるので、根幹となる搬入物の分別率向上に向けた取り組みが必要である。

・コンベアの速度を落とすことは、同一時間で処理できる量が減ることになり、どこかにしわ寄せが行く可能性がある。このことに注視し、搬入量が増加する時期に適合率を維持しながら支障なく処理を行う手法を検討すること。

・数値的には非常に少ない割合であるが、異物混入が続いている。要求水準書で定める異物の無混入を目指すべきであるが、品質の向上に向けては受入側・搬入側が具体的な目標値を定め行動につなげるなど、それぞれにおける取り組みと情報共有が必要である。

(古紙・古布類、剪定枝)

・搬入と搬出が月をまたぐ状況になることが多く、長期間で見なければならぬと考えるが、古紙・古布の資源化率が100%を超えるケースについて調査を行い、原因を究明すること。

(全体)

・資源化率が60%に届かなかったことは残念だが、ペットボトル、びん及び缶類の組成割合はほぼ100%に近く、不燃・粗大、剪定枝も良い値を示しており、個々の組成割合及び適合品比率が向上していることは、安定的な施設稼働が行われているものと評価できる。

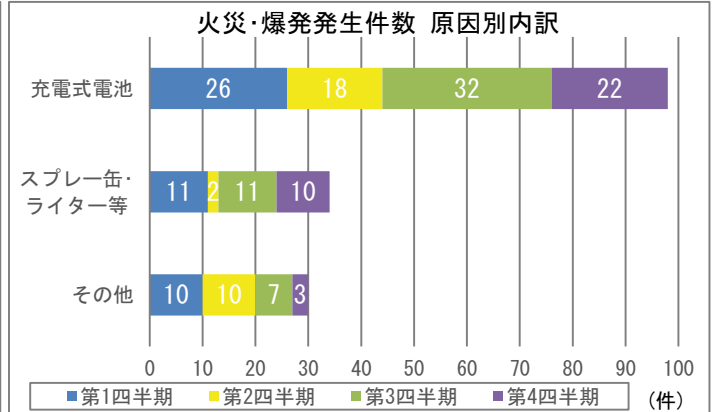
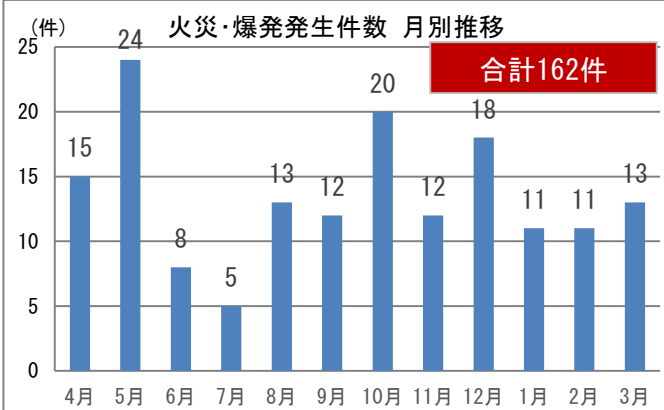
- ・選別不燃に含まれる可燃ごみの割合が高くなっており、今後の推移を注視すること。

【Ⅲ. 事故・故障に関するデータ】

1. 労働災害

整理番号	発生日時	場所	内容・原因・対応
IV 1	10月10日 火 11:45	リサイクルプラザ3階 プラスチック容器選別ライン東側避難出口バルコニー	火災発生に伴い避難経路から避難開始非常階段に繋がる屋外バルコニーに置かれていた物干、台ブロックにつまずき前方に転倒。前頭部と右膝を強打、出血応急処置後病院へ搬送。裂傷箇所の縫合とレントゲン撮影縫合部抜糸まで通院にて消毒。治療不休。

2. 設備・機器故障(ごみ処理停止まで至ったケース)



3. 事故・故障に関するコメント

コメント・総括

担当課

火災が年々増加し、前年度の82件に対して本年度は2倍近い162件に達している。そのうち充電式電池が原因のものは98件である。8月に発生した火災においては消防署に出動を要請する事態に至り、後に復旧工事を行った。10月の火災発生時には、避難中に転倒・負傷する二次被害も生じた。

また、在宅医療で使用したと思われる注射器の針が本年度だけで20件と、依然として数多く搬入されている。本年度に針刺し事故は発生していないが、手選別を行う職員の人命に係る可能性があることから、両市とともにさらに啓発を強化していきたい。

内部評価委員

(火災・爆発)

- 火災が前年度比ほぼ2倍の162件発生したことに対し、関係部局とともに他県自治体への実態調査など、迅速な対応を行っているが、未だ決定的な効果の現れには至っていない状況である。規模によっては復旧に時間がかかり、一時的なごみ処理停止にとどまらない事態も想定されることから、引き続き豊中市・伊丹市と連携した市民への分別啓発の強化を図る必要がある。現在可能な対応を講じつつ、搬入する両市に対し実態報告を行うとともに、施設停止時のリスク管理も考慮したうえでの対策を検討する必要がある。今後もハード・ソフト両面から粘り強い対応をお願いしたい。

- 火災発生件数の倍増について、対応困難な充電式電池が原因となるものも多く、抜本的な対策が必要だが、ライターやスプレー缶といった、従来から認識されてきた品目が原因となる火災も増加している。排出者の危険性を考慮してガス抜きを不要としたことも一因であるが、可燃性ガスの残留は破砕処理の行程において重大事故に発展する可能性が高い。搬入物検査を強化して、これらの混入状況をさらに調査されたい。

- ボンベの爆発やリチウム電池火災は全国的な問題で、製造元の拡大生産者責任を追及すべきである。

(注射針混入)

- 在宅医療で使用されたと見られる注射針も今なお数多く混入しており、改善を図る必要がある。啓発活動も一過性で終わらせず、機会あるごとに周知に努められたい。また、医療機関による患者への直接の指導・啓発がより有効である。

(その他)

- 充電式電池、在宅医療用注射針の混入については、両市収集部局と協働して、さらなる市民啓発を実施すること。また、国や関係機関等を巻き込んだ対応に努めること。

4. 火災・爆発発生状況 (詳細)

整理 番号	発生日時				場所			内容			原因			対応	
	月	日	曜日	時間	一次破砕 物搬送コ ンベア	No.1破砕 物搬送コ ンベア側	その他	火災検 知	爆発	その他	充電式 電池	スプレー缶・ ライター等	その他		備考
I 1	4	6	木	11:06			No.1破砕物搬送コンベアヘッド側	○			○				コンベア内のごみを点検、安全確認後運転を再開
I 2	4	7	金	10:08	○			○			○				コンベア内のごみを点検、安全確認後運転を再開
I 3	4	10	月	10:29		○		○			○				コンベア内のごみを点検、安全確認後運転を再開
I 4	4	11	火	9:26	○			○				○		スプレー缶等の残留ガスへの引火とみられる	コンベア内のごみを点検、安全確認後運転を再開
I 5	4	13	木	9:59			No.1破砕物搬送コンベアヘッド側	○					○	特定できなかった	コンベア内のごみを点検、安全確認後運転を再開
I 6	4	14	金	8:29			高速回転破砕機		○			○		スプレー缶等の残留ガスへの引火とみられる	破砕機内のごみを点検、安全確認後運転を再開
I 7	4	14	金	10:01	○			○			○			ライターから発火したもよう	コンベア内のごみを点検、安全確認後運転を再開
I 8	4	19	水	8:38	○			○				○			コンベア内のごみを点検、安全確認後運転を再開
I 9	4	19	水	13:36	○			○			○				(原因) 充電式電池から発火、たもよう
I 10	4	21	金	10:44		○		○			○				コンベア内のごみを点検、安全確認後運転を再開
I 11	4	21	金	14:35	○			○				○		ライターから発火したもよう	コンベア内のごみを点検、安全確認後運転を再開
I 12	4	27	木	10:42	○			○			○			自転車用充電式電池から発火したもよう	コンベア内のごみを点検、安全確認後運転を再開
I 13	4	27	木	12:54	○			○			○			ライターまたは充電式電池から発火したもよう	コンベア内のごみを点検、安全確認後運転を再開
I 14	4	28	金	9:23			低速回転破砕機		○			○		カセット缶等の残留ガスへの引火とみられる	破砕機内のごみを点検、安全確認後運転を再開
I 15	4	28	金	11:45	○			○			○				コンベア内のごみを点検、安全確認後運転を再開
4月小計					9	2	4	13	2	0	9	5	1		
I 16	5	3	水・祝	10:50			不燃粗大ごみピット	○					○	No.5ゲート下より火災(白煙を確認)	周辺ごみを点検、安全確認後運転を再開
I 17	5	3	水・祝	10:51		○		○			○			ピット火災中に発報、自動散水	コンベア内のごみを点検、安全確認後運転を再開
I 18	5	3	水・祝	14:34		○		○			○				コンベア内のごみを点検、安全確認後運転を再開
I 19	5	4	木・祝	14:44		○		○					○	不明	コンベア内のごみを点検、安全確認後運転を再開
I 20	5	5	金・祝	11:28		○		○					○	不明	コンベア内のごみを点検、安全確認後運転を再開
I 21	5	9	火	11:16	○			○			○				コンベア内のごみを点検、安全確認後運転を再開

整理 番号	発生日時				場所			内容			原因			備考	対応
	月	日	曜日	時間	一次破砕 物搬送コ ンベア	No.1破砕 物搬送コ ンベア側	その他	火災検 知	爆発	その他	充電式 電池	スプレー缶 等	その他		
I 22	5	9	火	14:21		○		○			○				コンベア内のごみを点検、安全確認後運転を再開
I 23	5	10	水	8:42	○			○				○			コンベア内のごみを点検、安全確認後運転を再開
I 24	5	10	水	11:02		○		○			○				コンベア内のごみを点検、安全確認後運転を再開
I 25	5	11	木	13:09	○			○			○				コンベア内のごみを点検、安全確認後運転を再開
I 26	5	11	木	14:28	○			○			○			自転車用充電式電池から発火したもよう	コンベア内のごみを点検、安全確認後運転を再開
I 27	5	12	金	10:45		○		○			○				コンベア内のごみを点検、安全確認後運転を再開
I 28	5	17	水	14:43	○			○				○		カセットコンロから発火したもよう	コンベア内のごみを点検、安全確認後運転を再開
I 29	5	18	木	9:48		○		○			○				コンベア内のごみを点検、安全確認後運転を再開
I 30	5	19	金	9:13			No.1破砕物搬送コンベアヘッド側	○					○	不明	コンベア内のごみを点検、安全確認後運転を再開
I 31	5	19	金	11:13		○		○			○				コンベア内のごみを点検、安全確認後運転を再開
I 32	5	22	月	9:54		○		○			○				コンベア内のごみを点検、安全確認後運転を再開
I 33	5	22	月	12:34			高速回転破砕機	○					○	高速破砕機室自動火災報知機煙感知、原因不明	豊中消防へ出動要請
I 34	5	23	火	14:33	○			○				○		スプレー缶等の残留ガスへの引火とみられる	コンベア内のごみを点検、安全確認後運転を再開
I 35	5	24	水	13:32			高速回転破砕機		○			○		カセットボンベ等の残留ガスへの引火とみられる	破砕機内のごみを点検、安全確認後運転を再開
I 36	5	29	月	8:35			No.1破砕物搬送コンベアヘッド側	○					○	不明	コンベア内のごみを点検、安全確認後運転を再開
I 37	5	29	月	13:02		○		○					○	発炎筒からの引火とみられる	コンベア内のごみを点検、安全確認後運転を再開
I 38	5	31	水	10:51			高速回転破砕機		○			○		カセットボンベ等の残留ガスへの引火とみられる	破砕機内のごみを点検、安全確認後運転を再開
I 39	5	31	水	13:26		○		○					○	不明	コンベア内のごみを点検、安全確認後運転を再開
5月小計					6	12	6	22	2	0	11	5	8		
I 40	6	1	木	9:41		○		○			○				コンベア内のごみを点検、安全確認後運転を再開
I 41	6	2	金	9:39	○			○			○			充電式電池(パソコン用)から発火と考えられる	コンベア内のごみを点検、安全確認後運転を再開
I 42	6	2	金	11:08			高速破砕機内		○			○		カセットボンベから発火したと考えられる	破砕機内のごみを点検、安全確認後運転を再開
I 43	6	8	木	10:01			No.1破砕物搬送コンベアヘッド側	○			○				コンベア内のごみを点検、安全確認後運転を再開

整理 番号	発生日時				場所			内容			原因			対応	
	月	日	曜日	時間	一次破砕 物搬送コン ベア	No.1破砕 物搬送コン ベア側	その他	火災検 知	爆発	その他	充電式 電池	スプレー・ ワイヤ等	その他		備考
I 44	6	15	木	8:55	○	/	/	○	/	/	○	/	/		コンベア内のごみを 点検、安全確認後 運転を再開
I 45	6	19	月	10:57	/	○	/	○	/	/	○	/	/		コンベア内のごみを 点検、安全確認後 運転を再開
I 46	6	21	水	13:57	○	/	/	○	/	/	○	/	/		コンベア内のごみを 点検、安全確認後 運転を再開
I 47	6	22	木	14:11	/	○	/	○	/	/	/	/	○	特定できなかった	コンベア内のごみを 点検、安全確認後 運転を再開
6月小計					3	3	2	7	1	0	6	1	1		
第1四半期小計					18	17	12	42	5	0	26	11	10		
II 1	7	4	火	9:42	/	○	/	○	/	/	/	/	○	不明	コンベア内のごみを 点検、安全確認後 運転を再開
II 2	7	4	火	13:32	/	○	/	○	/	/	○	/	/		コンベア内のごみを 点検、安全確認後 運転を再開
II 3	7	5	水	14:29	/	○	/	○	/	/	○	/	/		コンベア内のごみを 点検、安全確認後 運転を再開
II 4	7	17	月・ 祝	9:51	○	/	/	○	/	/	○	/	/		コンベア内のごみを 点検、安全確認後 運転を再開
II 5	7	26	水	14:25	/	○	/	○	/	/	○	/	/		コンベア内のごみを 点検、安全確認後 運転を再開
7月小計					1	4	0	5	0	0	4	0	1		
II 6	8	2	水	14:16	/	○	/	○	/	/	○	/	/		コンベア内のごみを 点検、安全確認後 運転を再開
II 7	8	3	木	9:37	/	/	高速回 転破砕 機	○	/	/	/	/	○	発火物が塗料缶に 引火したもよう、 発火物は不明	豊中消防へ出動 要請
II 8	8	4	金	14:13	/	/	高速回 転破砕 機	○	/	/	/	/	○	発火物が中身入りアル コール容器に引火したも よう、発火物は不明	コンベア内のごみを 点検、安全確認後 運転を再開
II 9	8	8	火	9:16	/	○	/	○	/	/	○	/	/		コンベア内のごみを 点検、安全確認後 運転を再開
II 10	8	8	火	11:09	/	○	/	○	/	/	/	/	○	不明	コンベア内のごみを 点検、安全確認後 運転を再開
II 11	8	10	木	14:17	/	○	/	○	/	/	○	/	/	ワイヤから発火し たもよう	コンベア内のごみを 点検、安全確認後 運転を再開
II 12	8	10	木	15:21	/	○	/	○	/	/	○	/	/		コンベア内のごみを 点検、安全確認後 運転を再開
II 13	8	14	月	9:41	/	○	/	○	/	/	○	/	/		コンベア内のごみを 点検、安全確認後 運転を再開
II 14	8	16	水	14:00	/	○	/	○	/	/	○	/	/		コンベア内のごみを 点検、安全確認後 運転を再開
II 15	8	17	木	11:47	/	○	/	○	/	/	/	/	○	不明	コンベア内のごみを 点検、安全確認後 運転を再開
II 16	8	22	火	13:39	/	○	/	○	/	/	○	/	/		コンベア内のごみを 点検、安全確認後 運転を再開

整理 番号	発生日時				場所			内容			原因			備考	対応
	月	日	曜日	時間	一次破砕 物搬送コ ンベア	No.1破砕 物搬送コ ンベア側	その他	火災検 知	爆発	その他	充電式 電池	ライター・ ライター等	その他		
Ⅱ 17	8	29	火	9:19	○	△	△	○	△	△	○	△	△		コバア内のごみを 点検、安全確認後 運転を再開
Ⅱ 18	8	30	水	9:47	△	○	△	○	△	△	△	△	○		コバア内のごみを 点検、安全確認後 運転を再開
8月小計					1	10	2	13	0	0	7	1	5		
Ⅱ 19	9	4	月	11:31	○	△	△	○	△	△	○	△	△		コバア内のごみを 点検、安全確認後 運転を再開
Ⅱ 20	9	4	月	14:16	△	○	△	○	△	△	○	△	△	充電式電池から発 火したもよう(自 転車アシスト用)	コバア内のごみを 点検、安全確認後 運転を再開
Ⅱ 21	9	6	水	11:17	○	△	△	○	△	△	○	△	△	充電式電池から発 火したもよう(自 転車アシスト用)	コバア内のごみを 点検、安全確認後 運転を再開
Ⅱ 22	9	6	水	13:35	△	○	△	○	△	△	△	△	○	不明	コバア内のごみを 点検、安全確認後 運転を再開
Ⅱ 23	9	7	木	9:09	△	○	△	○	△	△	△	△	○	不明	コバア内のごみを 点検、安全確認後 運転を再開
Ⅱ 24	9	7	木	10:43	△	○	△	○	△	△	○	△	△		コバア内のごみを 点検、安全確認後 運転を再開
Ⅱ 25	9	12	火	10:38	△	○	△	○	△	△	△	△	○	不明	コバア内のごみを 点検、安全確認後 運転を再開
Ⅱ 26	9	13	水	13:14	○	△	△	○	△	△	△	○	△	ライターから発火 したもよう	コバア内のごみを 点検、安全確認後 運転を再開
Ⅱ 27	9	14	木	10:49	○	△	△	○	△	△	○	△	△	充電式電池から発 火したもよう(自 転車アシスト用)	コバア内のごみを 点検、安全確認後 運転を再開
Ⅱ 28	9	21	木	13:39	○	△	△	○	△	△	△	△	○	不明	コバア内のごみを 点検、安全確認後 運転を再開
Ⅱ 29	9	22	金	10:41	△	○	△	○	△	△	○	△	△		コバア内のごみを 点検、安全確認後 運転を再開
Ⅱ 30	9	25	月	11:18	○	△	△	○	△	△	○	△	△	充電式電池から 発火したと考え られる(パソコン用)	コバア内のごみを 点検、安全確認後 運転を再開
9月小計					6	6	0	12	0	0	7	1	4		
第2四半期小計					8	20	2	30	0	0	18	2	10		
Ⅲ 1	10	3	火	8:43	○	△	△	○	△	△	○	△	△	PC用充電式電 池	コバア内のごみを 点検、安全確認後 運転を再開
Ⅲ 2	10	3	火	10:24	○	△	△	○	△	△	○	△	△		コバア内のごみを 点検、安全確認後 運転を再開
Ⅲ 3	10	4	水	9:24	○	△	△	○	△	△	○	△	△		コバア内のごみを 点検、安全確認後 運転を再開
Ⅲ 4	10	4	水	10:18	○	△	△	○	△	△	○	△	△		コバア内のごみを 点検、安全確認後 運転を再開
Ⅲ 5	10	5	木	14:14	○	△	△	○	△	△	△	○	△	回収した電子基 盤、ライター等と思 われる	コバア内のごみを 点検、安全確認後 運転を再開
Ⅲ 6	10	9	月・ 祝	10:58	△	○	△	○	△	△	○	△	△	充電式電池と思 われる	コバア内のごみを 点検、安全確認後 運転を再開

整理 番号	発生日時				場所			内容			原因			対応	
	月	日	曜日	時間	一次破砕 物搬送コン ベア	No.1破砕 物搬送コン ベア77側	その他	火災検 知	爆発	その他	充電式 電池	スプレー缶・ ライター等	その他		備考
Ⅲ 7	10	9	月・ 祝	12:51	/	○	/	○	/	/	○	/	/	充電式電池と思 われる	コンベア内のごみを 点検、安全確認後 運転を再開
Ⅲ 8	10	10	火	10:55	/	/	粗大不燃 ごみ投入 ホッパ	○	/	/	/	/	○	発見された多数 のスプレー缶・ライ ターと思われる	コンベア内のごみを 点検、安全確認後 運転を再開
Ⅲ 9	10	11	水	10:47	○	/	/	○	/	/	○	/	/	/	コンベア内のごみを 点検、安全確認後 運転を再開
Ⅲ 10	10	11	水	12:53	○	/	/	○	/	/	/	/	○	ライター等と想定	コンベア内のごみを 点検、安全確認後 運転を再開
Ⅲ 11	10	12	木	10:45	○	/	/	○	/	/	/	/	○	スプレー缶・ライ ター等 と想定	コンベア内のごみを 点検、安全確認後 運転を再開
Ⅲ 12	10	12	木	14:12	○	/	/	○	/	/	○	/	/	/	コンベア内のごみを 点検、安全確認後 運転を再開
Ⅲ 13	10	16	月	13:19	○	/	/	○	/	/	○	/	/	/	コンベア内のごみを 点検、安全確認後 運転を再開
Ⅲ 14	10	17	火	10:12	/	○	/	○	/	/	○	/	/	/	コンベア内のごみを 点検、安全確認後 運転を再開
Ⅲ 15	10	17	火	13:00	○	/	/	○	/	/	○	/	/	/	コンベア内のごみを 点検、安全確認後 運転を再開
Ⅲ 16	10	19	木	8:42	○	/	/	○	/	/	○	/	/	/	コンベア内のごみを 点検、安全確認後 運転を再開
Ⅲ 17	10	20	金	10:00	○	/	/	○	/	/	/	○	/	中身入サットボン ベに引火、発火 したと思われる	コンベア内のごみを 点検、安全確認後 運転を再開
Ⅲ 18	10	23	月	10:28	○	/	/	○	/	/	○	/	/	/	コンベア内のごみを 点検、安全確認後 運転を再開
Ⅲ 19	10	30	月	13:53	/	○	/	○	/	/	○	/	/	/	コンベア内のごみを 点検、安全確認後 運転を再開
Ⅲ 20	10	31	火	11:15	○	/	/	○	/	/	○	/	/	充電式電池(アシ スト自転車用)	コンベア内のごみを 点検、安全確認後 運転を再開
10月小計					15	4	1	20	0	0	15	1	4		
Ⅲ 21	11	1	水	11:01	○	/	/	○	/	/	○	/	/	充電式電池 (iRobot用電池パッ ク)	コンベア内のごみを 点検、安全確認後 運転を再開
Ⅲ 22	11	2	木	11:12	○	/	/	○	/	/	○	/	/	充電式電池(PC 用)	コンベア内のごみを 点検、安全確認後 運転を再開
Ⅲ 23	11	3	金・ 祝	10:30	/	○	/	○	/	/	○	/	/	充電式電池 (iRobot用含む大 量の電池パック)	コンベア内のごみを 点検、安全確認後 運転を再開
Ⅲ 24	11	9	木	8:45	○	/	/	○	/	/	○	/	/	/	コンベア内のごみを 点検、安全確認後 運転を再開
Ⅲ 25	11	10	金	14:17	○	/	/	○	/	/	○	/	/	充電式電池(電 動工具用)	コンベア内のごみを 点検、安全確認後 運転を再開
Ⅲ 26	11	14	火	8:47	○	/	/	○	/	/	○	/	/	充電式電池(アシ スト自転車用)	コンベア内のごみを 点検、安全確認後 運転を再開
Ⅲ 27	11	15	水	13:22	/	○	/	○	/	/	/	/	○	不明	コンベア内のごみを 点検、安全確認後 運転を再開
Ⅲ 28	11	21	火	15:08	○	/	/	○	/	/	/	○	/	中身入スプレー缶 に引火して発火 したと思われる	コンベア内のごみを 点検、安全確認後 運転を再開

整理 番号	発生日時				場所			内容			原因			備考	対応
	月	日	曜日	時間	一次破碎 物搬送コ ンベア	No.1破碎 物搬送コ ンベア側	その他	火災検 知	爆発	その他	充電式 電池	スプレー缶・ ライター等	その他		
Ⅲ 29	11	23	木・祝	11:09	/	○	/	○	/	/	○	/	/		コンベア内のごみを点検、安全確認後運転を再開
Ⅲ 30	11	24	金	10:21	/	○	/	○	/	/	/	/	○	不明	コンベア内のごみを点検、安全確認後運転を再開
Ⅲ 31	11	28	火	9:23	/	/	鉄類貯留ホッパ	○	/	/	/	/	○	不明	ホッパ内を全量排出、原因調査後運転を再開
Ⅲ 32	11	30	木	14:38	○	/	/	○	/	/	○	/	/	充電式電池(携帯電話)	コンベア内のごみを点検、安全確認後運転を再開
11月小計					7	4	1	12	0	0	8	1	3		
Ⅲ 33	12	1	金	9:59	/	○	/	○	/	/	/	○	/	中身入スプレッポンベに引火、発火したと思われる	コンベア内のごみを点検、安全確認後運転を再開
Ⅲ 34	12	6	水	9:17	/	/	低速回転破碎機内	/	/	爆発及び火災検知	/	○	/	中身入スプレッポンベに引火、発火したと思われる	コンベア内のごみを点検、消防署の現場検証を行い当
Ⅲ 35	12	7	木	11:30	○	/	/	/	/	爆発及び火災検知	/	○	/	中身入スプレッポンベに引火、発火したと思われる	コンベア内のごみを点検、消防署の現場検証を行い当
Ⅲ 36	12	7	木	14:04	/	○	/	○	/	/	/	/	○	不明	コンベア内のごみを点検、安全確認後運転を再開
Ⅲ 37	12	11	月	13:29	○	/	/	○	/	/	○	/	/	充電式電池(PC用)	コンベア内のごみを点検、安全確認後運転を再開
Ⅲ 38	12	12	火	9:57	/	○	/	○	/	/	○	/	/		コンベア内のごみを点検、安全確認後運転を再開
Ⅲ 39	12	13	水	10:15	/	○	/	○	/	/	/	/	○	不明	コンベア内のごみを点検、安全確認後運転を再開
Ⅲ 40	12	13	水	12:54	○	/	/	○	/	/	○	/	/		コンベア内のごみを点検、安全確認後運転を再開
Ⅲ 41	12	14	木	9:12	/	○	/	○	/	/	○	/	/		コンベア内のごみを点検、安全確認後運転を再開
Ⅲ 42	12	14	木	11:33	○	/	/	○	/	/	/	/	○	マッチ(引)	コンベア内のごみを点検、安全確認後運転を再開
Ⅲ 43	12	14	木	14:32	○	/	/	○	/	/	/	○	/	ライター	コンベア内のごみを点検、安全確認後運転を再開
Ⅲ 44	12	20	水	10:05	/	○	/	○	/	/	○	/	/		コンベア内のごみを点検、安全確認後運転を再開
Ⅲ 45	12	20	水	13:18	○	/	/	○	/	/	○	/	/		コンベア内のごみを点検、安全確認後運転を再開
Ⅲ 46	12	26	火	8:56	○	/	/	○	/	/	○	/	/	充電式電池(加熱式タバコ内臓)	コンベア内のごみを点検、安全確認後運転を再開
Ⅲ 47	12	27	水	10:12	○	/	/	○	/	/	○	/	/	充電式電池(アシスト自転車用)	コンベア内のごみを点検、安全確認後運転を再開
Ⅲ 48	12	28	木	9:40	○	/	/	○	/	/	/	○	/	ライター	コンベア内のごみを点検、安全確認後運転を再開
Ⅲ 49	12	28	木	11:22	○	/	/	○	/	/	/	/	○	不明	コンベア内のごみを点検、安全確認後運転を再開
Ⅲ 50	12	29	金	13:22	/	○	/	○	/	/	○	/	/	充電式電池(加熱式タバコ内臓)	コンベア内のごみを点検、安全確認後運転を再開

整理 番号	発生日時				場所			内容			原因			備考	対応
	月	日	曜日	時間	一次破砕 物搬送コ ンベア	No.1破砕 物搬送コ ンベア側	その他	火災検 知	爆発	その他	充電式 電池	スプレー缶・ ライター等	その他		
12月小計					10	7	1	16	0	2	9	5	4		
第3四半期小計					32	15	3	48	0	2	32	7	11		
IV 1	1	4	木	9:26		○		○			○			充電式電池(充 電式電池パック)	コンベア内のごみを 点検、安全確認後 運転を再開
IV 2	1	4	木	13:03			低速回 転破砕 機		○			○		中身入セットボ ンベが噴出し引火	消防署・警察署による現場 検証後にコンベア内のごみを 点検、翌5日に安全確認後 運転を再開
IV 3	1	5	金	14:54	○			○			○				コンベア内のごみを 点検、安全確認後 運転を再開
IV 4	1	8	月	8:40	○			○			○			充電式電池(充 電式掃除機用)	コンベア内のごみを 点検、安全確認後 運転を再開
IV 5	1	8	月	13:53		○		○			○			充電式電池(携 帯電話)	コンベア内のごみを 点検、安全確認後 運転を再開
IV 6	1	9	火	11:01	○			○			○			小爆発 中身入カ セットボンベに充電式 電池の火花が引火	コンベア内のごみを 点検、安全確認後 運転を再開
IV 7	1	10	水	13:46		○		○			○			充電式電池(ク イソコートレスクリー ナー用)	コンベア内のごみを 点検、安全確認後 運転を再開
IV 8	1	15	月	9:08	○			○			○			充電式電池(電 動工具用)	コンベア内のごみを 点検、安全確認後 運転を再開
IV 9	1	18	木	9:38	○			○			○				コンベア内のごみを 点検、安全確認後 運転を再開
IV 10	1	18	木	10:49		○		○				○		ライター	コンベア内のごみを 点検、安全確認後 運転を再開
IV 11	1	29	月	14:25	○			○			○				コンベア内のごみを 点検、安全確認後 運転を再開
1月小計					6	4	1	10	1	0	9	2	0		
IV 11	2	1	木	10:13	○			○			○				コンベア内のごみを 点検、安全確認後 運転を再開
IV 12	2	1	木	13:28	○			○				○		中身入セットボ ンベ	コンベア内のごみを 点検、安全確認後 運転を再開
IV 13	2	1	木	15:16		○		○			○				コンベア内のごみを 点検、安全確認後 運転を再開
IV 14	2	7	水	13:53	○			○					○	鉛蓄電池が破砕 され発火	コンベア内のごみを 点検、安全確認後 運転を再開
IV 15	2	8	木	9:48	○			○			○				コンベア内のごみを 点検、安全確認後 運転を再開
IV 16	2	8	木	14:29	○			○			○			充電式電池(電 子タバコ)	コンベア内のごみを 点検、安全確認後 運転を再開
IV 17	2	9	金	8:58	○			○			○				コンベア内のごみを 点検、安全確認後 運転を再開
IV 18	2	15	木	11:14	○			○				○		中身入スプレー缶	コンベア内のごみを 点検、安全確認後 運転を再開
IV 19	2	21	水	10:38	○			○			○			充電式電池、中 身入ライターの残カ スに引火	コンベア内のごみを 点検、安全確認後 運転を再開

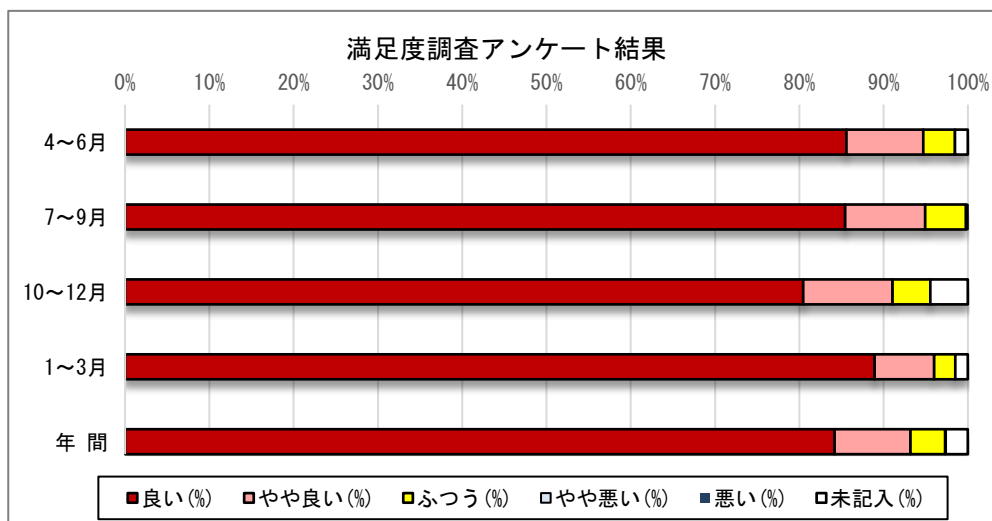
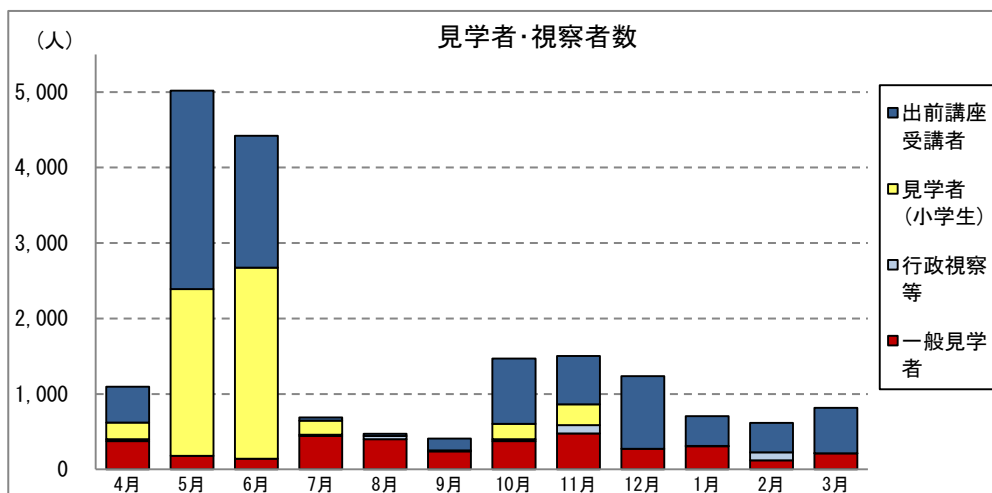
整理 番号	発生日時				場所			内容			原因			備考	対応
	月	日	曜日	時間	一次破砕 物搬送コ ンベア	No.1破砕 物搬送コ ンベア側	その他	火災検 知	爆発	その他	充電式 電池	スプレー缶・ ライター等	その他		
IV 20	2	28	水	9:54		○		○			○				コンベア内のごみを 点検、安全確認後 運転を再開
IV 21	2	28	水	13:43	○			○				○		中身入スプレー缶	コンベア内のごみを 点検、安全確認後 運転を再開
2月小計					9	2	0	11	0	0	7	3	1		
IV 22	3	1	木	9:24			高速回 転破砕 機	○				○		中身入スプレー缶 類から発火と推 測	コンベア内のごみを 点検、安全確認後 運転を再開
IV 23	3	1	木	15:12			高速回 転破砕 機	○				○		中身入スプレー缶 類から発火と推 測	コンベア内のごみを 点検、安全確認後 運転を再開
IV 24	3	2	金	8:57		○		○			○			充電式電池(シャ ープ製家電品用)	コンベア内のごみを 点検、安全確認後 運転を再開
IV 25	3	2	金	10:33			高速回 転破砕 機	○			○				コンベア内のごみを 点検、安全確認後 運転を再開
IV 26	3	6	火	8:52		○		○			○				コンベア内のごみを 点検、安全確認後 運転を再開
IV 27	3	7	水	13:37	○			○				○		中身入スプレー缶 類から発火と推 測	コンベア内のごみを 点検、安全確認後 運転を再開
IV 28	3	8	木	9:12	○			○			○				コンベア内のごみを 点検、安全確認後 運転を再開
IV 29	3	8	木	10:04		○		○					○	不明	コンベア内のごみを 点検、安全確認後 運転を再開
IV 30	3	8	木	13:33	○			○				○		中身入スプレー缶 類から発火と推 測	コンベア内のごみを 点検、安全確認後 運転を再開
IV 31	3	12	月	11:34	○			○			○				
IV 32	3	14	水	13:50	○			○				○		中身入ライター	コンベア内のごみを 点検、安全確認後 運転を再開
IV 33	3	21	水	14:22	○			○			○			充電式電池(モバ イル用池)	コンベア内のごみを 点検、安全確認後 運転を再開
IV 34	3	22	木	9:53		○		○					○	不明	コンベア内のごみを 点検、安全確認後 運転を再開
3月小計					6	4	3	13	0	0	6	5	2		
第4四半期小計					21	10	4	34	1	0	22	10	3		
合計					79	62	21	154	6	2	98	30	34		
					162			162			162				

【IV. 環境学習・啓発に関するデータ】

1. 見学・視察者

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
一般見学者 (人)	377	182	143	444	399	241	377	477	272	309	122	212	3,555
見学者(小学生) (人)	221	2,207	2,532	186	0	0	204	274	0	0	0	0	5,624
行政視察等 (人)	23	0	0	17	42	10	24	112	0	3	104	2	337
見学者合計(人)	621	2,389	2,675	647	441	251	866	640	962	394	390	603	10,879
出前講座受講者(人)	477	2,630	1,747	42	31	160	866	640	962	394	390	603	8,942
合計(人)	1,098	5,019	4,422	689	472	411	1,732	1,280	1,924	788	780	1,206	19,821

アンケート結果	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	年間
良い(%)	85.6	83.1	80.4	88.9	84.2
やや良い(%)	9.1	9.2	10.6	7.0	9.0
ふつう(%)	3.8	4.7	4.5	2.5	4.1
やや悪い(%)	0.0	0.2	0.0	0.0	0.1
悪い(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
未記入(%)	1.5	0.0	4.5	1.5	2.6
回答数(件)	132	445	179	199	955



2. 環境学習・啓発に関するコメント

コメント・総括

新ごみ焼却施設稼動2年目にあたる本年度の見学者数は9,516人(前年度比マイナス275人)で、1年目だった前年度の9,791人と比較して大幅な落ち込みもなく、多くの方に見学していただくことができた。4月には、伊丹市立野間幼稚園の園児を迎え、伊丹市広報やケーブルテレビとともに新ごみ焼却施設見学者1万人達成イベントを盛大に開催することができた。

小学校の社会科見学は、前年度に引き続き、伊丹市の全市立小学校17校、豊中市の市立小学校41校中40校が実施した。残る1校が見学を見送った理由は「遠い」「交通手段がない」というものであった。次年度以降も引き続き積極的に勧誘を行っていく。

見学者アンケートは、多くの回答者から「良い」「やや良い」の評価を得た。第2四半期に「やや悪い」の評価が1件あったが、その理由は、クリーンランドの設備や説明ではなく、主催者が立てたスケジュールが過密だったので、もっとゆっくり見学したかったという前向きなものであった。

第1学期には、両市の収集部局とともに各小学校へ出前講座に赴き、環境学習とクリーンランドのPRを行った。また、秋以降はこども園等において出前講座を開催した。豊中市分については環境部と協働で、伊丹市分についてはクリーンランド単独での実施となった。「ごみぶくろう」を出演させることで、認知度を高めながら多くの園児たちに対してクリーンランドを紹介することができた。また、本年度は2体目の「ごみぶくろう」着ぐるみを作成したことにより、施設見学と出前講座の日程が重複した際も双方に「ごみぶくろう」を出演させることができ、クリーンランドのPRに非常に役立った。

担当課

(施設見学)

- ・リサイクルプラザ(スリーR・センター)稼動後6年、また新ごみ焼却施設稼動後2年が経過した今なお、多くの来場者を得るとともに、満足度調査アンケート結果において「良い」「やや良い」が93.2%を占め、良い評価を得ていることは大変光栄である。また、アンケートで1件あった「やや悪い」の回答者は前向きな意見だったということなので、その改善策を検討提案すること。
- ・今後年数が経つにつれ見学者数の減少が懸念されるが、本年度は前年度より若干減少しているものの出前講座受講者数が500人程増え、全体として参加人数が伸びていることは評価できる。また、施設見学者のリピーター対策はかねてからの課題であり、見学スケジュールの見直し等、他施設などの先進事例を調査研究し、環境学習委託業務受託者を中心に魅力的なプログラムの開発と周知活動に引続き取り組むこと。また、多数の見学者が来場されることによる安全対策も併せて検討を重ねること。
- ・2体目の着ぐるみの作成がクリーンランドのPRにも大いに役立ち、大変有意義であったと評価する。また、小学校の社会科見学については、最新の施設ということをアピールし、全校に見学を訪れてもらえるよう、働きかけること。

(環境学習)

- ・新ごみ焼却施設が稼動してから一般見学者や行政視察数が大幅に増えたことは市民への啓発には好機である。プラスチック製容器包装への異物混入や充電式電池を原因とする火災発生件数の増加等、現状の課題を踏まえて追加する等、環境学習プログラムや出前講座のメニューを年次計画的に見直していく必要がある。
- ・NPOに対し、引き続き高評価を得られるよう、企画立案・プログラム等について指導を行っていくこと。

内部評価委員

【V. 総括】

● 担当課

資源化物手選別従事者が2人退職したことにより、30人体制となった。このことについて、1人は平成30年(2018年)4月1日付けでの採用が確定しており、残りの1人についても職場研修を実施して適性を判断することを、障がい者雇用を行っている株式会社 きるとに確認した。業務開始以降3年間は離職者ゼロであったものの、最近では長期間にわたり業務に従事することに対して困難な事案も見受けられるとの報告も受けている。

資源化率は、全体で59.16%と目標の60%に達しなかったが、資源ごみに関しては79.19%と高い数値を示している。不燃ごみにおける適合品比率を上げることにより、全体としての資源化率も上昇すると考えられる。

事故・故障については、火災が162件と、前年度82件の倍近くとなり、要因としては充電式電池が98件で、60%を超え、内訳としては充電式電池内蔵の小型家電が多い中、電動アシスト付自転車のバッテリーや加熱式タバコ等、時代背景を窺わせる充電式電池を原因とする火災も発生している。

新ごみ焼却施設見学者数は9,516人で、過去最高の9,791人という見学・視察者数を数えたごみ焼却施設稼動1年目の前年度と比較しても大きく減少せず、多くの見学者に来ていただくことができた。

環境学習の業務3年契約終了に伴って実施した公募型プロポーザルによる業者選考の結果、次年度以降も引き続き豊中・伊丹環境政策フォーラムの受託が決定したことから、向こう3年間も不備のないようにモニタリングを実施していく。

● 内部評価委員

(施設運営)

・平成24年度(2012年度)の竣工から6年が経過し、これまで施設を停めることなく、両市から搬入された不燃・粗大ごみ並びに資源ごみ等の全量を適正に安心・安全に処理し続けてきたことは評価できる。

・株式会社 きるとの手選別業務従事者数については、継続的に業務に従事することで経験を積み、選別率の向上につなげていただいていたことから、離職者が出たことは残念であるが、次代を担う新たな職員を迎え、安定的な事業活動を継続すること。

・委託業者と意思疎通を図りながら、施設の運用方法等について共通認識を持ったうえで対応していくことが必要である。

(火災・爆発)

・火災発生件数が急激に増加し、機器類の損傷や処理業務の遅れなど施設の安定稼動に支障となる状況である。機器設備の損傷具合によっては長期の操業停止に至る恐れがあることから、不燃に入る充電式電池やガスの入ったライター・ボンベ類が喫緊の課題であり、両市環境部局との連携・市民啓発・消火設備増強等、あらゆる方策について検討と実現に努めること。

(資源化率)

・目標の60%に届いていないことは残念であるが、総体的には大きな支障もなく施設運営がなされていると評価する。プラスチック製容器包装への異物混入については、両市と共通課題として共有を図り、協議を重ねながら目標値等を設定したうえで低減に向けた取り組みを行っていく必要がある。

・両市で開始された小型家電製品の回収量増加や、次年度から開始される水銀使用廃製品の分別回収の周知により、資源化率の向上並びに火災発生件数の減少に向けた効果測定を行うこと。

(環境学習)

・新ごみ焼却施設稼動から2年が経過し見学者合計が若干減少したが、大きな減少にはならなかったことは評価する。

・環境学習業務は、次年度以降も継続契約となった豊中・伊丹環境政策フォーラムが、これまでの3年間を踏まえ、これからの3年間の環境学習プログラムの企画・立案等の実施に努めるよう指導を行うとともに、提案内容が履行できているか、不備のないようモニタリングすること。また、受託者が新たなコンテンツなどの検討等、斬新な発想による効果的な提案・実施と機動力を発揮した展開により進化し続けることを求める。

平成29年度(2017年度) ごみ焼却施設評価表

施設名称	豊中市伊丹市クリーンランド ごみ焼却施設		
所在地	豊中市原田西町2-1	竣工年月	平成28年(2016年)3月
施設概要 ・ 主要設備	<p>〈施設概要〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 構造 : 鉄骨鉄筋コンクリート造、鉄筋コンクリート造、鉄骨造 ○ 建築面積 : 13,540.40平方メートル ○ 延べ床面積 : 36,411.21平方メートル <p>〈プラント設備概要〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 炉形式 : 全連続式焼却炉(ストーカ炉) ○ ごみ焼却能力 : 175t/日(3基) ○ ガス冷却方式 : 単胴自然循環型水管式ボイラ ○ 排ガス処理設備: バグフィルタ + 乾式排ガス処理装置 + 湿式有害ガス処理装置 + 触媒反応装置 ○ 排水処理設備 : Ph調整 + 凝集沈殿 + ろ過 ○ 発電設備 : 蒸気タービン発電機(14,000kw(1基)) 		
施設紹介 及び特徴	<p>豊中・伊丹両市から搬入される可燃ごみを、衛生的に中間処理(焼却処理)している。</p> <p>また、焼却時に発生する蒸気を利用した高効率発電設備(発電効率約20%)を有し、施設内電力を賄うほか余剰分は電力会社に売却する。</p> <p>公害防止には十分に配慮しており、特に排ガスについては法定基準値より厳しい自主基準値を設定(近隣他市事例や発電効率の確保見通し等を勘案)し遵守に努めている。</p> <p>壁面・屋上緑化を施すほか、環境学習機能として炉内疑似体験装置など様々な仕掛けを備え付けた見学ルートを有している。</p>		
運営形態	直営		

【 I . ごみ焼却施設に関するデータ】

可燃ごみ搬入量	豊中市	100,818.93	t
	伊丹市	49,033.18	t
	計画	161,908.00	t
	実績	162,488.70	t
	実績差	175.11	t
ごみ質	紙・布類	44.7	%
	厨芥類	24.3	%
	プラ・ゴム類	20.1	%
	木・わら類	7.9	%
	焼却不適物	1.3	%
	その他	1.7	%
光熱水使用量	電気	29,267,000	kwh
	市水	6,644	m ³
	高度処理水	54,753	m ³

※ 特に記載のないものは平成29年度(2017年度) 実績値

注: 各項目における評価(適/不適)について

自己評価……実際に当該施設を運転・管理している現場職員による自己評価

内部評価……クリーンランドの管理職で構成される内部評価委員会における内部評価

□を記載しています。

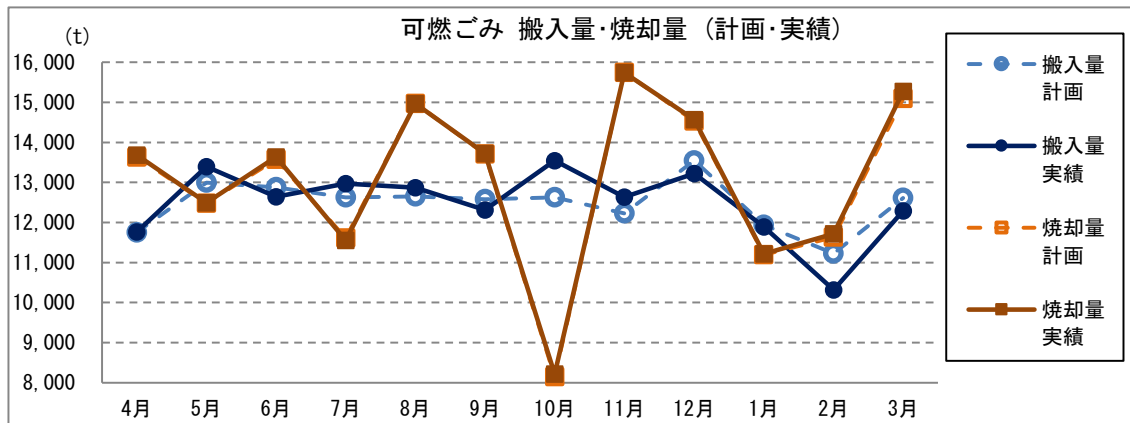
【II. ゴミ焼却施設に関するデータ】

1. 可燃ごみ 搬入量・焼却量

可燃ごみ搬入量 (t)		4月	5月	6月	7月	8月	9月
	計画※	11,756.00	12,998.00	12,879.00	12,629.00	12,650.00	12,580.00
	実績	11,767.62	13,392.91	12,638.60	12,968.78	12,866.81	12,316.03
	計画差	11.62	394.91	-240.40	339.78	216.81	-263.97

可燃ごみ焼却量 (t)		4月	5月	6月	7月	8月	9月
	計画※	13,635.00	12,485.00	13,575.00	11,610.00	14,975.00	13,710.00
	実績	13,685.92	12,497.19	13,639.21	11,550.83	14,965.41	13,721.02
	計画差	50.92	12.19	64.21	-59.17	-9.59	11.02

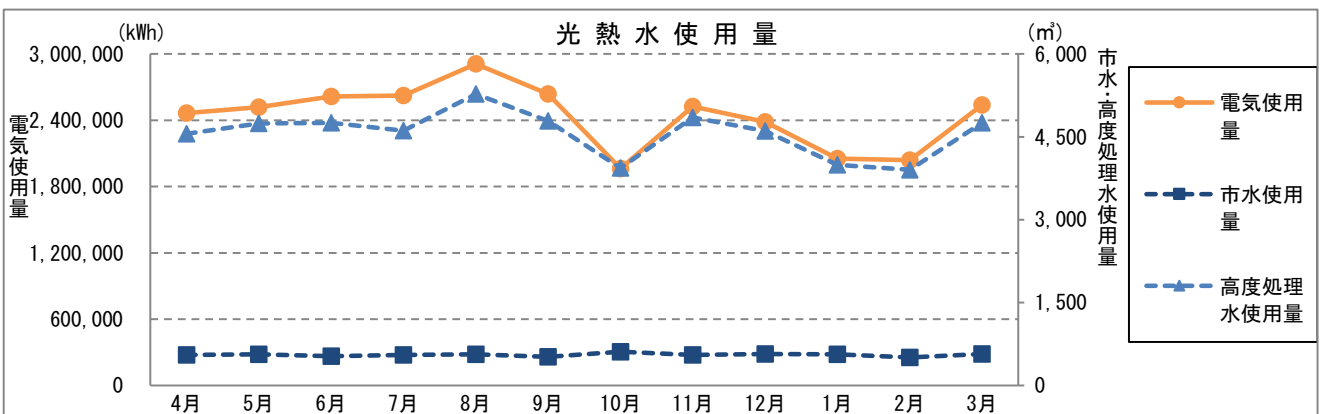
※ 豊中市・伊丹市から提出された計画値の合計



2. 可燃ごみのごみ質、光熱水使用量

ごみ質 (%)		4月6日	5月2日	6月2日	7月3日	8月1日	9月1日
	紙・布類		43.604	41.508	37.983	44.284	44.513
厨芥類		31.934	33.764	32.313	27.371	28.177	17.131
フ・ラ・コ・ム類		19.959	16.772	21.567	19.501	15.571	25.547
木・わら類		1.700	6.107	6.103	6.082	10.141	4.389
焼却不適物		0.591	0.905	0.876	1.725	0.508	1.723
その他		2.212	0.944	1.158	1.037	1.090	0.613
計		100					

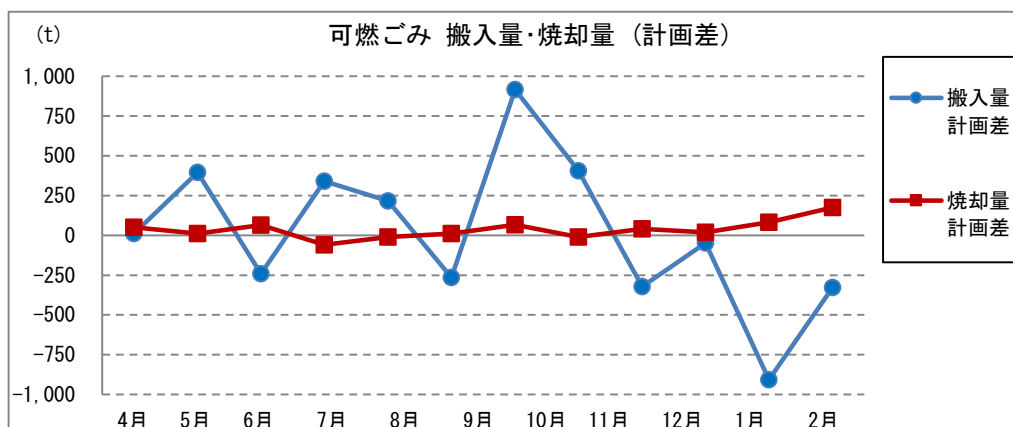
光熱水使用量		4月	5月	6月	7月	8月	9月
	電気使用量 (kWh)	2,465,350	2,517,040	2,615,030	2,622,890	2,909,150	2,638,070
	市水使用量 (m ³)	550	564	528	554	565	516
高度処理水使用量 (m ³)	4,555	4,739	4,753	4,610	5,272	4,789	



10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
12,630.00	12,231.00	13,546.00	11,938.00	11,226.00	12,614.00	149,677.00
13,545.75	12,636.59	13,223.96	11,889.36	10,319.06	12,286.64	149,852.11
915.75	405.59	-322.04	-48.64	-906.94	-327.36	175.11

10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
8,150.00	15,750.00	14,530.00	11,195.00	11,635.00	15,095.00	156,345.00
8,216.78	15,739.42	14,571.26	11,213.76	11,716.24	15,270.06	
66.78	-10.58	41.26	18.76	81.24	175.06	442.10

* 焼却計画については、四半期ごとに実情を踏まえて見直しを実施。



10月5日	11月9日	12月5日	1月9日	2月5日	3月5日	平均
42.728	41.951	49.001	53.691	43.670	42.845	44.698
30.969	16.758	13.597	13.603	28.382	17.717	24.310
13.620	13.421	18.314	20.141	22.725	33.616	20.063
7.016	23.722	16.606	8.626	1.748	3.096	7.945
4.808	0.926	0.492	1.672	0.371	1.315	1.326
0.859	3.222	1.990	2.267	3.104	1.411	1.659
100						

10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
1,962,770	2,524,430	2,383,770	2,053,460	2,037,200	2,537,840	29,267,000
611	550	567	563	508	568	6,644
3,936	4,849	4,604	3,991	3,903	4,752	54,753

3. ごみ焼却施設に関するコメント

コメント・総括

担当課

可燃ごみの搬入量の年間計画差は、約+0.12%でほぼ計画値どおりの結果となった。焼却量については、年間計画差は約+0.28%だった。ごみ焼却施設の運転管理については、設備・機器の故障等の影響もなく、安定して稼動することができた。

豊中・伊丹両市のごみ搬入計画量とクリーンランド独自で推計した搬入計画量については、各月の差はあったものの年間の総搬入量については大きな差がなく、年間計画差±0.2%以内の精度で運用することができた。引続き精度の高い計画の策定と実施に取り組む。

ごみ質については、プラスチック系のごみが年平均約20%と前年度より高い値となっているものの、安定的に運転管理ができたと考える。

光熱水量については、焼却炉の運転日数の差はあるものの、電気・市水・高度処理水ともに前年度を下回る数値となった。この間の実績をもとにさらにデータの蓄積・分析を行い、適正な光熱水の使用量を見定めていく。

内部評価委員	<p>1. 可燃ごみ 搬入量・焼却量</p> <ul style="list-style-type: none">・年間310日間の焼却炉の稼動を余儀なくされているが、可燃ごみの焼却量は適正な運転管理によりほぼ計画どおりの焼却量となっており、安定した運転を続け、特に大きなトラブルもなく最後まで適正に処理できた。今後も各項目に注視し、焼却施設の安定稼動に向けた適正な維持管理による整備計画及び運転計画を実施すること。・可燃ごみ搬入量について、以前は豊中・伊丹両市の搬入計画量と実績に乖離があり信頼性を欠いていたが、ここ最近では計画差の幅が少なくなり精度が上がってきている。両市の計画量との差が小さくなったことは、両市が行う減量施策が計画通りに行われているものと評価できるが、施設の処理能力525t/日からみる可燃ごみ搬入量に対しては依然として多く搬入されており、両市ごみ減量計画の一層の推進が必要である。 <p>2. 可燃ごみのごみ質、光熱水使用量</p> <ul style="list-style-type: none">・本年度も概ね計画どおりの焼却処理が行えたことに加え、焼却量の減少に比例して光熱水使用量も減少している。また、ごみ質については、資源化できる紙・布類の割合が減少しプラスチック類・ゴム類の割合が増加しており、分別の傾向としては好ましいと考える。
--------	---

【Ⅲ. 環境に関するデータ】

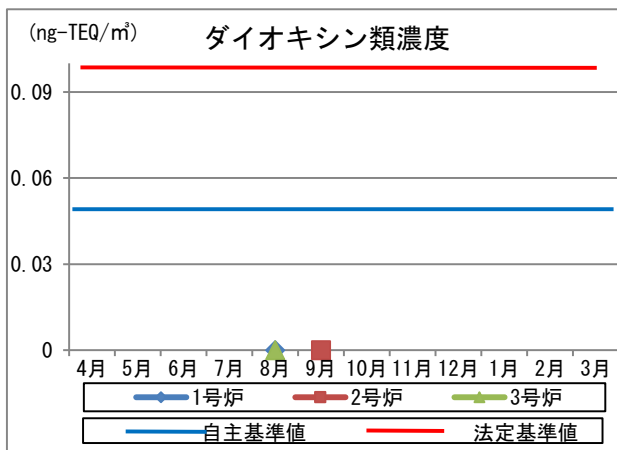
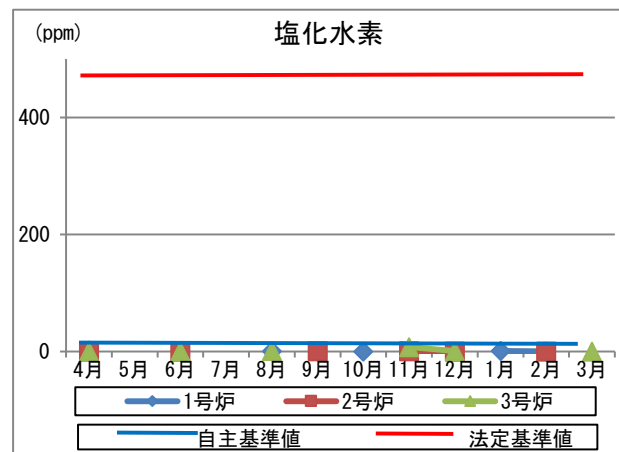
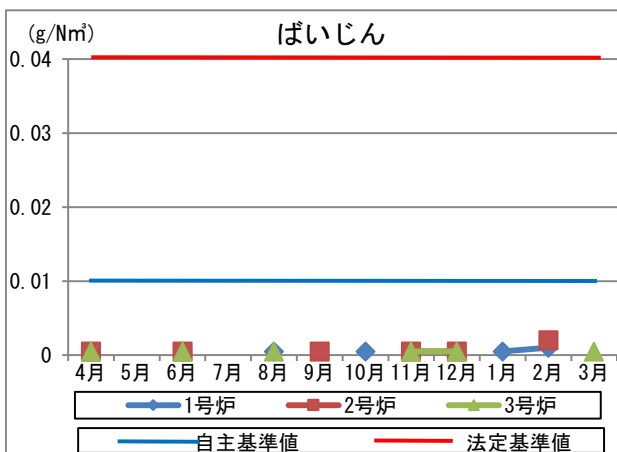
1. 排ガス(煙突入口)

測定項目	測定炉	4月	5月	6月	7月	8月	9月
ばいじん* (g/Nm ³)	1号炉	<0.001	-	<0.001	-	<0.001	-
	2号炉	<0.001	-	<0.001	-	-	<0.001
	3号炉	<0.001	-	<0.001	-	<0.001	<0.001
塩化水素* (ppm)	1号炉	1.7	-	0.8	-	0.7	-
	2号炉	<0.4	-	<0.4	-	-	0.8
	3号炉	<0.4	-	0.6	-	1.1	-
硫黄酸化物 (ppm)	1号炉	<0.5	-	<0.5	-	<0.5	-
	2号炉	<0.5	-	<0.5	-	-	<0.5
	3号炉	<0.5	-	<0.5	-	<0.5	-
窒素酸化物* (ppm)	1号炉	15	-	24	-	15	-
	2号炉	18	-	14	-	-	22
	3号炉	14	-	13	-	6.9	-
水銀* (mg/Nm ³)	1号炉	-	-	<0.004	-	-	-
	2号炉	-	-	<0.004	-	-	-
	3号炉	-	-	<0.004	-	-	-
鉛* (mg/Nm ³)	1号炉	-	-	<0.0007	-	-	-
	2号炉	-	-	<0.0007	-	-	-
	3号炉	-	-	<0.0007	-	-	-
ダイオキシン類濃度* (ng-TEQ/m ³)	1号炉	-	-	-	-	0.000031	-
	2号炉	-	-	-	-	-	-
	3号炉	-	-	-	-	0	-

注 排ガスについては大気汚染防止法による法定基準値に上乗せした、クリーンランド独自の自主基準値を設定している。

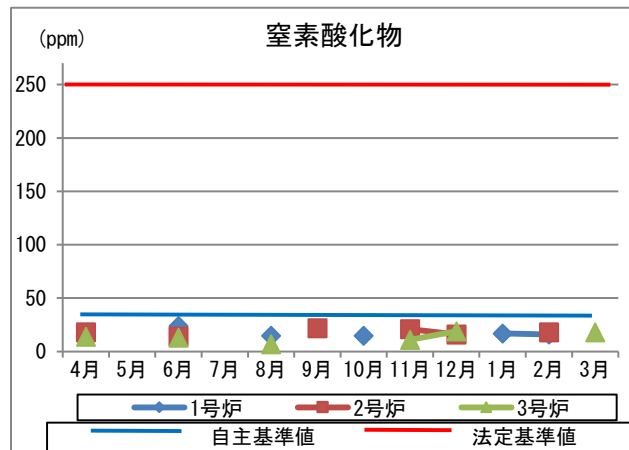
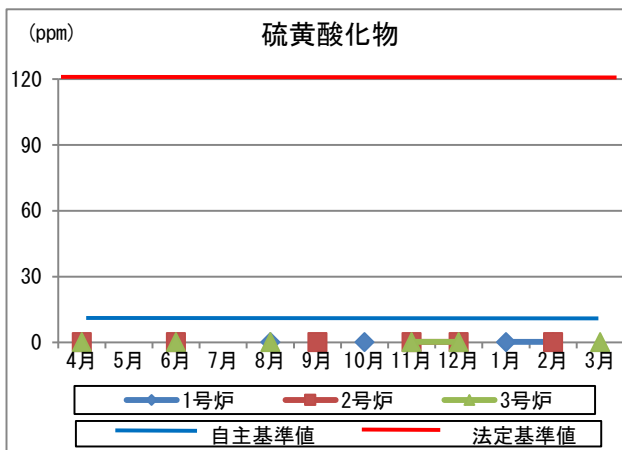
* 大気汚染防止法に基づき、酸素12%換算した値を示している。

※ 基準値は排ガスの量等により変動するため、ここでは豊中市に届出している排ガス量等を用いて計算される値としている。



10月	11月	12月	1月	2月	3月
<0.001	-	-	<0.001	0.001	-
-	<0.001	<0.001	-	0.002	-
-	<0.001	<0.001	-	-	<0.001
<0.4	-	-	1.0	<0.4	-
-	0.8	<0.4	-	<0.4	-
-	7.7	0.8	-	-	<0.4
<0.5	-	-	<0.5	<0.5	-
-	<0.5	<0.5	-	<0.5	-
-	<0.5	0.5	-	-	<0.5
15	-	-	17	16	-
-	21	16	-	18	-
-	11	19	-	-	18
-	-	-	<0.004	-	-
-	-	<0.004	-	-	-
-	-	<0.004	-	-	-
-	-	-	<0.0007	-	-
-	-	<0.0008	-	-	-
-	-	<0.0007	-	-	-
-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-

基準値	
自主	法定
0.01	0.04
10	約 430
10	120 ※
30	250
0.05	0.18 ※
0.1	0.36 ※
0.05	0.10



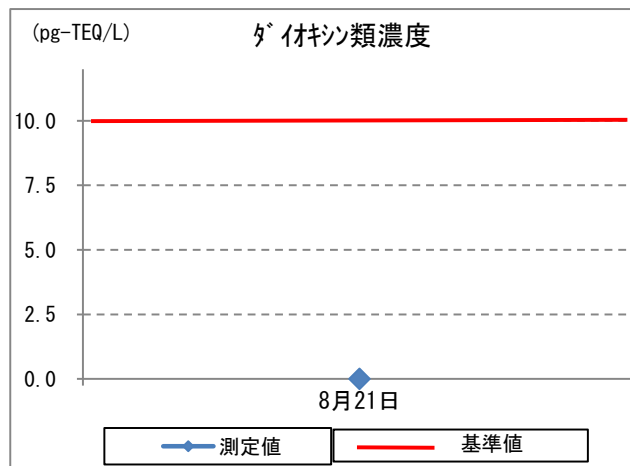
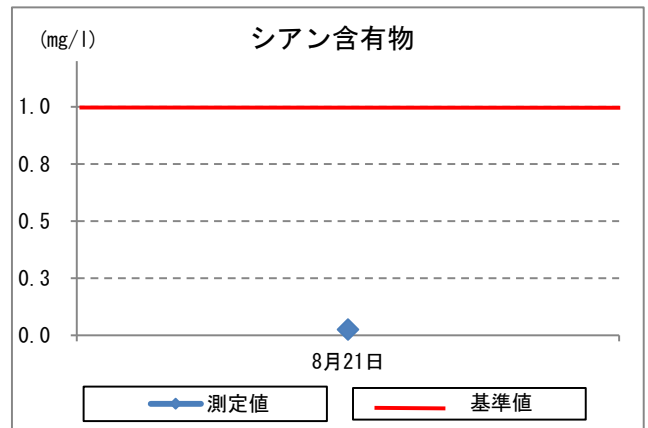
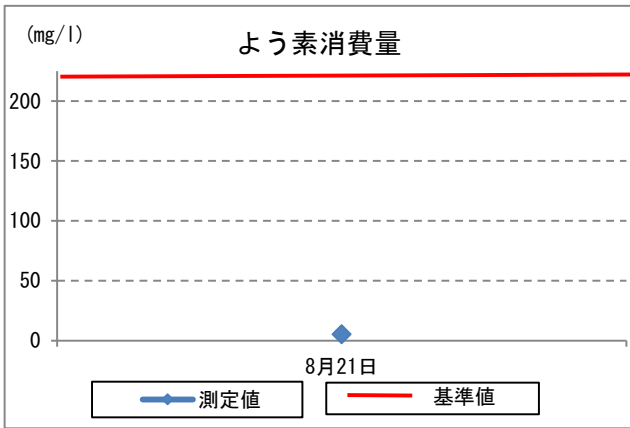
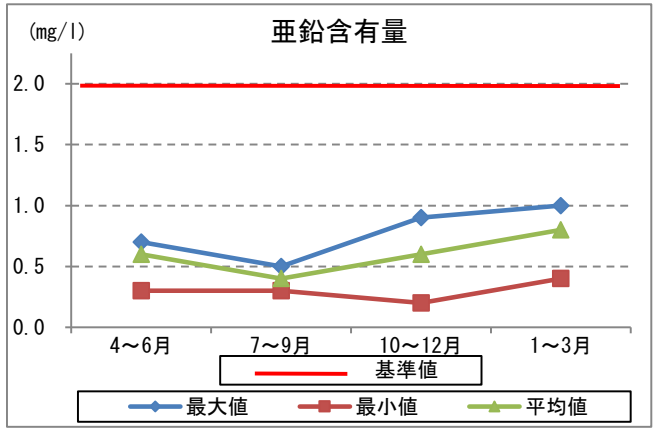
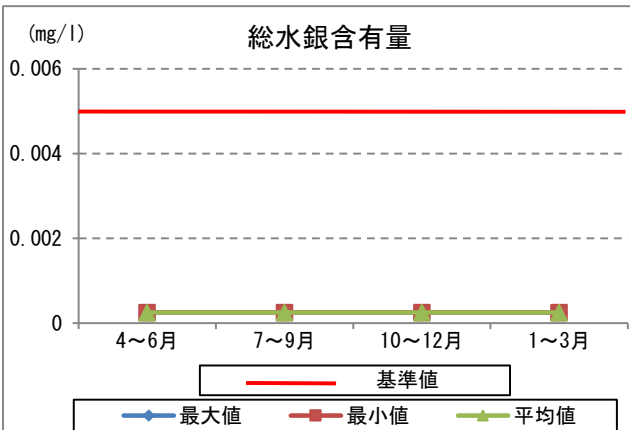
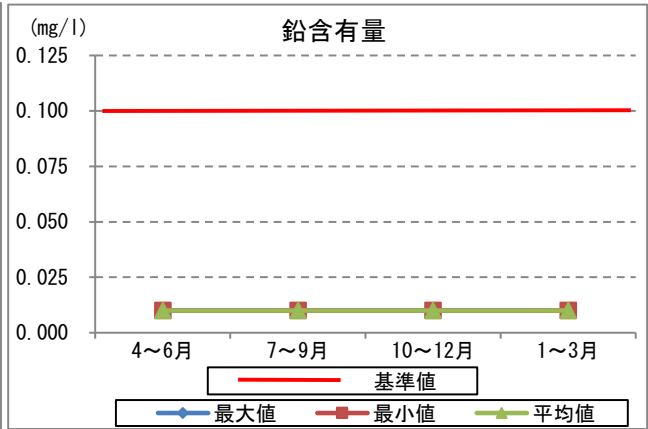
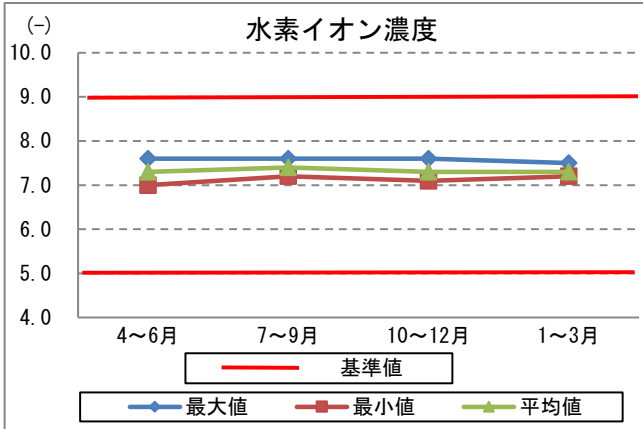
自己評価	内部評価
適	適

2. 排水(放流水出口)

測定項目		4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	基準値
温度 (°C)	最大値	28.5	32.3	28.5	20.0	<45
	最小値	19.3	29.0	18.1	13.8	
	平均値	25.0	30.8	22.3	16.9	
水素イオン濃度 (-)	最大値	7.6	7.6	7.6	7.5	5~9
	最小値	7.0	7.2	7.1	7.2	
	平均値	7.3	7.4	7.3	7.3	
生物化学的 酸素要求量 (mg/l)	最大値	110	36	<8	<8	600
	最小値	<8	<8	<8	<8	
	平均値	31	10	<8	<8	
化学的酸素要求量 (mg/l)	最大値	75	54	15	16	-
	最小値	17	12	12	14	
	平均値	38	27	13	15	
浮遊物質 (mg/l)	最大値	9.2	13	<4	<4	600
	最小値	<4	<4	<4	<4	
	平均値	<4	<4	<4	<4	
全蒸発残留物 (mg/l)	最大値	4000	3800	2400	5500	-
	最小値	910	2300	820	1200	
	平均値	2500	3000	1800	3300	
カドミウム含有量 (mg/l)	最大値	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.03
	最小値	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	
	平均値	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	
鉛含有量 (mg/l)	最大値	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	0.1
	最小値	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	
	平均値	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	
総水銀含有量 (mg/l)	最大値	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.005
	最小値	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	
	平均値	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	
クロム含有量 (mg/l)	最大値	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	2
	最小値	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	
	平均値	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	
銅含有量 (mg/l)	最大値	0.01	0.01	0.01	0.01	3
	最小値	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
	平均値	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
亜鉛含有量 (mg/l)	最大値	0.7	0.5	0.9	1.0	2
	最小値	0.3	0.3	0.2	0.4	
	平均値	0.6	0.4	0.6	0.8	
鉄含有量 (mg/l)	最大値	0.2	0.4	<0.2	<0.2	溶解性 10
	最小値	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	
	平均値	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	
マンガン含有量 (mg/l)	最大値	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	溶解性 10
	最小値	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	
	平均値	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	
ふっ素含有量 (mg/l)	最大値	<1	<1	<1	<1	8
	最小値	<1	<1	<1	<1	
	平均値	<1	<1	<1	<1	
n-ヘキサン 抽出物質含有量 (mg/l)	最大値	7.2	<5	<5	<5	30
	最小値	<5	<5	<5	<5	
	平均値	<5	<5	<5	<5	
ほう素含有量 (mg/l)	最大値	1.6	0.78	0.90	1.1	10
	最小値	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	
	平均値	0.61	0.49	0.45	0.53	

測定項目	測定日	測定値	基準値
よう素消費量(mg/l)	8/21	5.2	220
シアン含有物(mg/l)	8/21	不検出	1
ダイオキシン類濃度(ng-TEQ/L)	8/21	0.000078	10

注:TEQ(毒性等価量)…いちばん毒性の強いダイオキシン2,3,7,8-四塩化ジベンゾ-ジオキシンの毒性を1として換算した値
ng(ナノグラム) … 10億分の1gを表す単位
pg(ピコグラム) … 1兆分の1gを表す単位



自己評価	内部評価
適	適

3. 焼却残渣

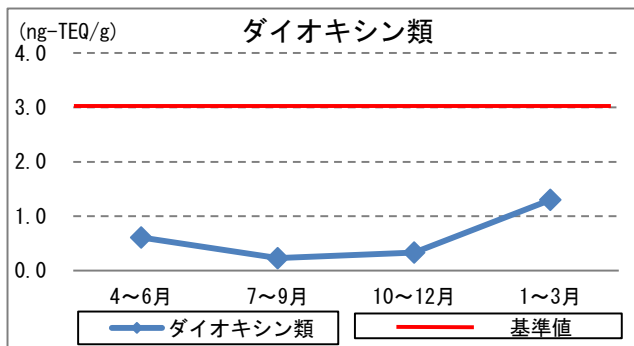
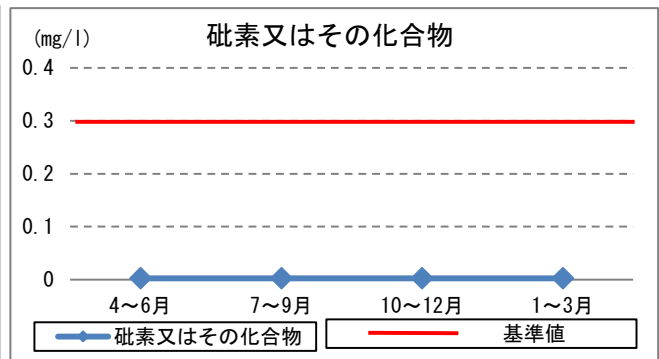
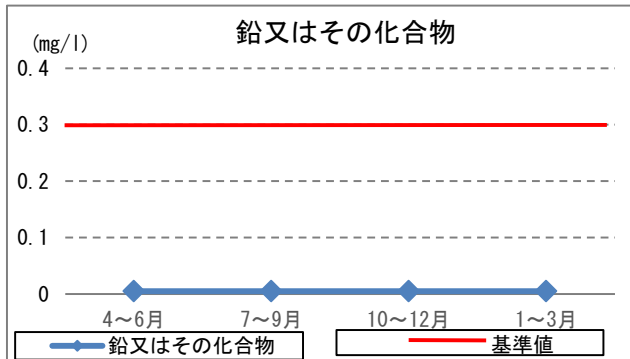
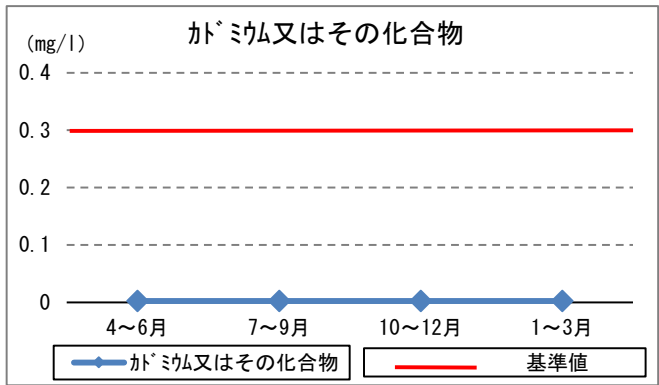
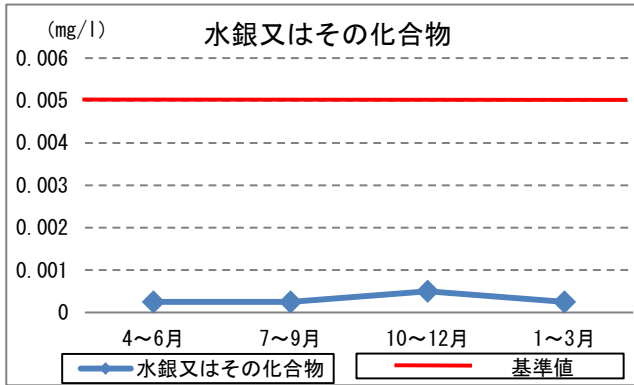
測定項目		4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	基準値*
ばいじん 処理物	アルキル水銀化合物 (検出/不検出)	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
	水銀又はその化合物 (mg/l)	<0.0005	<0.0005	0.0005	<0.0005	0.005
	カドミウム又はその化合物 (mg/l)	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.3
	鉛又はその化合物 (mg/l)	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.3
	六価クロム化合物 (mg/l)	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	1.5
	砒素又はその化合物 (mg/l)	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.3
	セレン又はその化合物 (mg/l)	0.010	0.009	0.009	0.007	0.3
	1,4-ジオキサン (mg/l)	0.008	<0.005	<0.005	<0.005	0.5
	ダイオキシン類※ (ngTEQ/g)	0.61	0.23	0.33	1.3	3
焼却灰	ダイオキシン類※ (ngTEQ/g)	0.0012	0.00000018	0.000046	0.0029	3

* 最終処分場である大阪湾広域臨海環境整備センターの受入判定基準値

※ 公定法(高分解能ガスクロマトグラフ質量分析計を用いた手法)により測定した値

4. 環境に関するコメント

コメント・総括	
担当課	<p>・ 排ガス・排水・焼却残渣に含まれる有害物質については、年間を通していずれの項目も基準値を満たす値となっており、適正に焼却施設の運転管理ができたと考える。</p>



自己評価	内部評価
適	適

内部評価委員

- ・ 排ガス、排水、焼却残渣の結果について全てのモニタリング項目が、適正かつ計画的な維持管理の実施等により余裕をもって基準値を満たすなど、各施設能力に見合った性能を確保できているものと評価する。
- ・ 焼却残渣に含まれるダイオキシン類の濃度の推移を注視すること。引き続き適切な運転管理により、各項目において基準値を満足する値となるよう努めるとともに、適正な環境モニタリングを実施すること。

【IV. 事故・故障に関するデータ】

1. 公務災害

発生日	場所	内容・原因・対応
2月2日	3階給排気ファン室	<p>(内容) 給排気ファンのベルト交換時にVベルトとプーリーに右手の指を挟み骨折。</p> <p>(原因) ベルト交換後の試運転時に被災者が運転機器から離れておらずまた、運転者と被災者との合図不足により災害が発生した。</p> <p>(対応) 類似作業時には、作業者の退避場所を確認するとともに、機器の運転時には運転者と作業者との合図を確認し作業することを課員に周知した。また、安全衛生委員会を通して全職員へ通知した。</p>

2. 設備・機器故障 (焼却炉の運転停止まで至ったケース等)

発生日	場所	内容・原因・対応
なし		

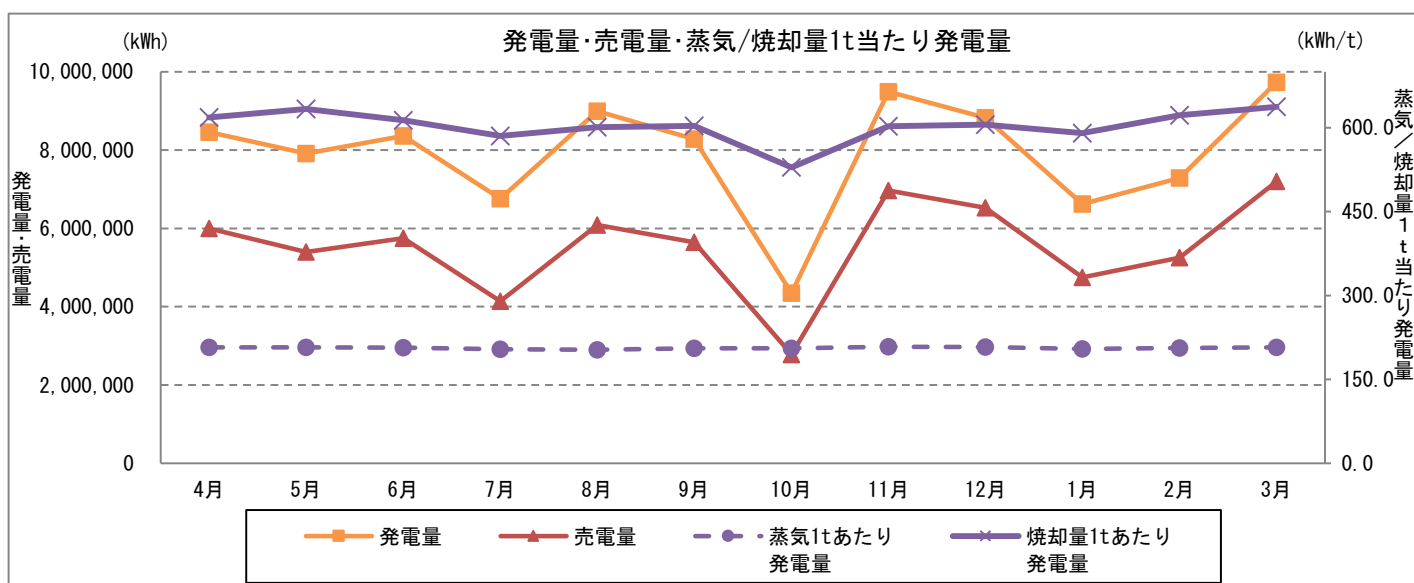
3. 事故・故障に関するコメント

コメント・総括	
担当課	<p>公務災害については、今年度も「労働災害ゼロ職場」目標に掲げ取り組んでいたが、2月に公務災害が発生し、達成できなかった。今回の公務災害は定期作業時に発生したもので、作業前ミーティングの不足が原因の1つとして挙げられる。今後も引き続き事業場全体で危険予知活動を実施していくとともに、作業前ミーティングの実施を徹底していくことで「労働災害ゼロ職場」をめざしていく。</p> <p>設備・機器の故障については、炉の停止にまで至るものはなかった。今後も引き続き予防保全に取り組む。</p>
内部評価委員	<p>(公務災害)</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成28年度(2016年度)新ごみ焼却施設移行に伴い、新たな施設での「労働災害ゼロ職場」を掲げ、クリーンランド危機管理対応方針に基づき事故対応マニュアルの整備など労働安全活動について強化してきたが、4月早々に公務災害が発生した前年度から2年近く継続されていたゼロ災害が、本年度2月に再び中断したことは大変残念である。 今回のケースは大災害に繋がってはいないが、安全意識が低下、もしくは停滞している感があるのではないかと考えられる。初心に戻り、作業前ミーティングをはじめ、危険予知活動(訓練)など作業着手前の取り組みを徹底するとともに、基本的な作業手法を確認するなど安全作業と再発防止に努め、職員の意識向上に向けた啓発を続けることが必要である。 <p>(設備・機器故障)</p> <ul style="list-style-type: none"> 設備・機器の故障により焼却炉が運転停止したケースはなかったが、引き続き予防保全に努めること。また、ライフサイクルコストをふまえた長寿命化計画に基づき、定期的かつ計画的なメンテナンスの実施により、安定稼動を継続すること。

【V. 資源化に関するデータ】

1. 発電量・売電量

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
蒸気量 (t)	40,845.7	38,221.2	40,439.9	33,181.2	44,311.1	40,275.5	21,156.0	45,540.2	42,487.1	32,382.4	35,309.5	46,883.3	461,033.1
発電量 (kWh)	8,461,960	7,916,720	8,364,870	6,761,180	8,996,320	8,281,570	4,347,560	9,489,780	8,825,350	6,622,360	7,289,010	9,733,940	95,090,620.0
売電量 (kWh)	5,997,780	5,400,240	5,750,490	4,138,730	6,087,750	5,644,090	2,781,880	6,966,030	6,529,780	4,748,270	5,252,420	7,197,040	66,494,500.0
蒸気1tあたり発電量 (kWh/t)	207.2	207.1	206.8	203.8	203.0	205.6	205.5	208.4	207.7	204.5	206.4	207.6	206.1
焼却量1tあたり発電量 (kWh/t)	618.3	633.5	613.3	585.3	601.1	603.6	529.1	602.9	605.7	590.6	622.1	637.5	598.0



2. 資源化に関するコメント

コメント・総括

担当課

発電量については、焼却炉の運転状況により上下があるものの、蒸気1tあたりの発電量は年平均で約206kWhと前年度と同様の高い値を維持し、引き続き高効率発電を行うことができた。
今後もデータの蓄積・分析を行い、安定した送電計画の策定と実施に努める。

内部評価委員

・年間のごみ焼却運転計画により、1～3号炉それぞれ約1ヶ月間の定期補修工事および発電設備を含む共通設備の定期補修工事及び発生蒸気量と外気温を勘案した運転管理が適正に履行された結果、ごみ焼却施設の安定稼働、ひいては高効率発電がなされ、財源確保に大きく寄与した点は、高く評価する。今後も引き続き安定した発電量の確保を図ること。

【VI. 総括】

● 担当課

可燃ごみの搬入量・焼却量ともに計画差はあったものの、焼却炉の運転に支障をきたすことなく運転管理を行うことができた。

環境面についても、排ガス・排水・焼却残渣の各測定項目について基準値を満たす結果となった。

公務災害が2月に1件発生したが、発生後直ちに原因を調査して対策を講じるとともに、クリーンランド全体で情報を共有することにより、類似作業における公務災害発生の予防を図った。

また、焼却炉が停止に至る設備・機器の故障もなかった。引続き予防保全に努めていくとともに、運転データ等の蓄積・分析を行い今後の運転管理に生かしていく。

資源化においては、発電量・売電量について引続き高い値を確保できたが、今後も安定した発電量・売電量を確保できるように取り組む。

● 内部評価委員

(全体)

・ 焼却炉が停止に至るような設備・機器の故障もなく概ね計画どおりの焼却ができた。環境面においても基準値を満たしており、安定稼動と適正なごみ焼却および環境モニタリングにより高効率発電がなされ各項目において概ね満足できる結果であると評価する。豊中・伊丹両市で唯一の施設として「安全・安心」への取り組みの充実と、これまでと同様に焼却施設、発電施設としての「安定」稼動に努めること。なお、可燃ごみの搬入量から見ると若干計画量を上回っているため、計画差について両市に情報提供し、ごみ減量に向けた取り組みの充実・強化を依頼する必要がある。また、焼却残渣に含まれるダイオキシン類の推移については引き続き注視すること。

(公務災害)

・ 公務災害の発生は、本人の苦痛のみならず職場においても戦力ダウンを余儀なくされる。日ごろから作業前ミーティング時に危険予知活動を実施し、作業に潜む危険を徹底して洗い出すとともに、基本的な作業手順を遵守することにより、職場環境のさらなる構築に努められたい。

・ 発生事例について、周知徹底を図るとともに事業場全体で情報共有し、再発防止に向けた取り組みを進めてひとり一人の安全意識を向上させ、労働災害ゼロ職場の確立をめざすこと。